

# 富田林市森林整備方針

令和7年度

農業創造課

# 目次

■ 目的	3
■ 市域の森林分布	4
■ 植生の変遷	6
■ 河内名所図会(龍泉寺)	8
■ 植生の変遷	9
■ 竹林の変遷	12
■ 市域の流域	17
■ 森林評価(市域全域)	19
■ 森林評価(市域南部)	28
■ 優先的森林整備候補地	36
■ 候補地の優先順位	40
■ 市域の森林整備方針	41
■ 優先的な整備内容	42
■ スギ・ヒノキの間伐《A》	43

■ スギ・ヒノキの間伐+植栽《B》	44
■ 竹林の線的整備《C》	47
■ 竹林の広葉樹林化《D》	48
■ 「候補地」内の林相	49



# 目的

## ■目的

富田林市は大阪府の中で、山林・農地・水辺などから成る、豊かな自然と人々の暮らしが隣り合い、接する地域である。

このような立地をふまえ、表層崩壊などの災害発生の抑制や、生物多様性の維持という観点から、森林を適正に管理することが重要である。

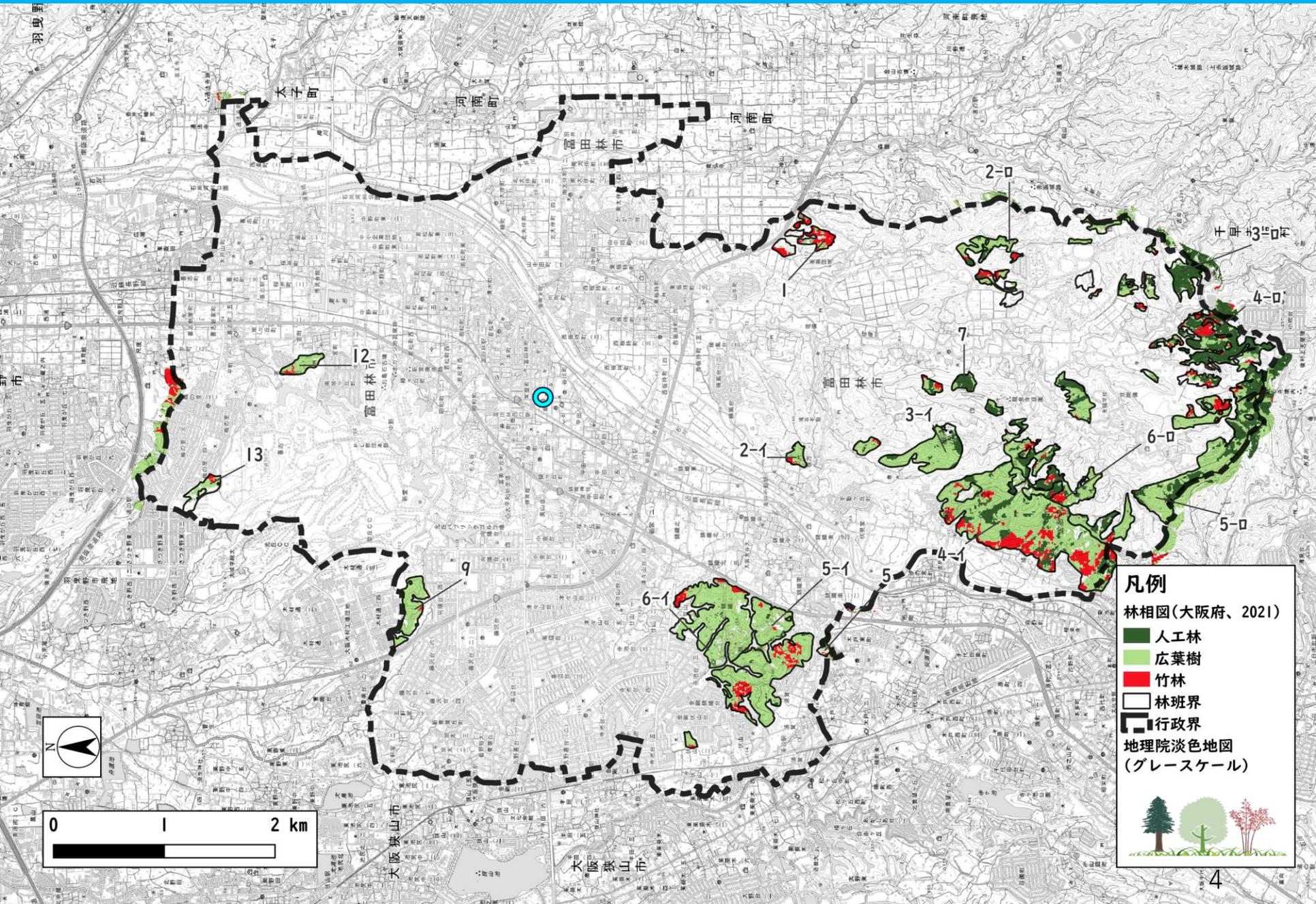
また、そのための体制を構築するために、森林所有者と住民、森林ボランティア等の団体、企業等と行政が協働して森林を適正に管理し、その再生に取り組むことが求められる。

本方針では、特に人々の居住地に隣接する山林を、健康な森として再生させることを目的に、人工林、天然林ともに現況の正確な把握を通して、その「将来像」を明らかにする。

以て  
「災害の抑制」を重視しながら、  
「景観の保全」や  
「資源循環」、  
「持続的な利用」、  
「生物多様性の向上」などをキーワードとし、  
「重点整備エリア」を抽出するとともに、市域の「森林整備方針」を取りまとめた。



# 市域の森林分布 (2021版 植生図)



**凡例**

林相図(大阪府、2021)

- 人工林
- 広葉樹
- 竹林
- 林班界
- 行政界

地理院淡色地図  
(グレースケール)

# 市域の森林分布【3D表示】 (2021版 植生図)



■石川に面する「嶽山・金胎寺山の西斜面」に、竹林が広がっている。

## 凡例

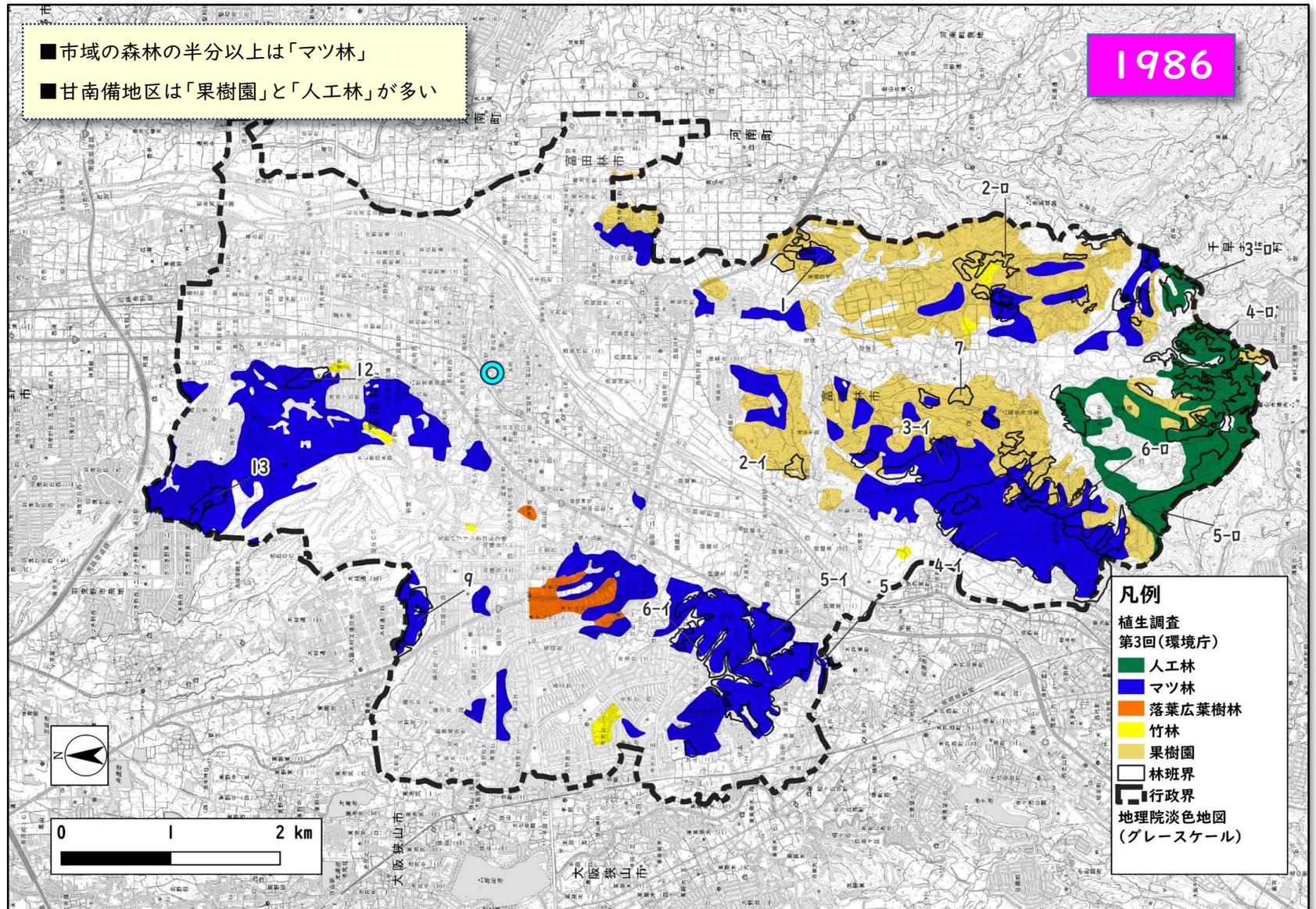
林相図(大阪府、2021)

- 人工林
- 広葉樹
- 竹林
- 林班界
- 行政界

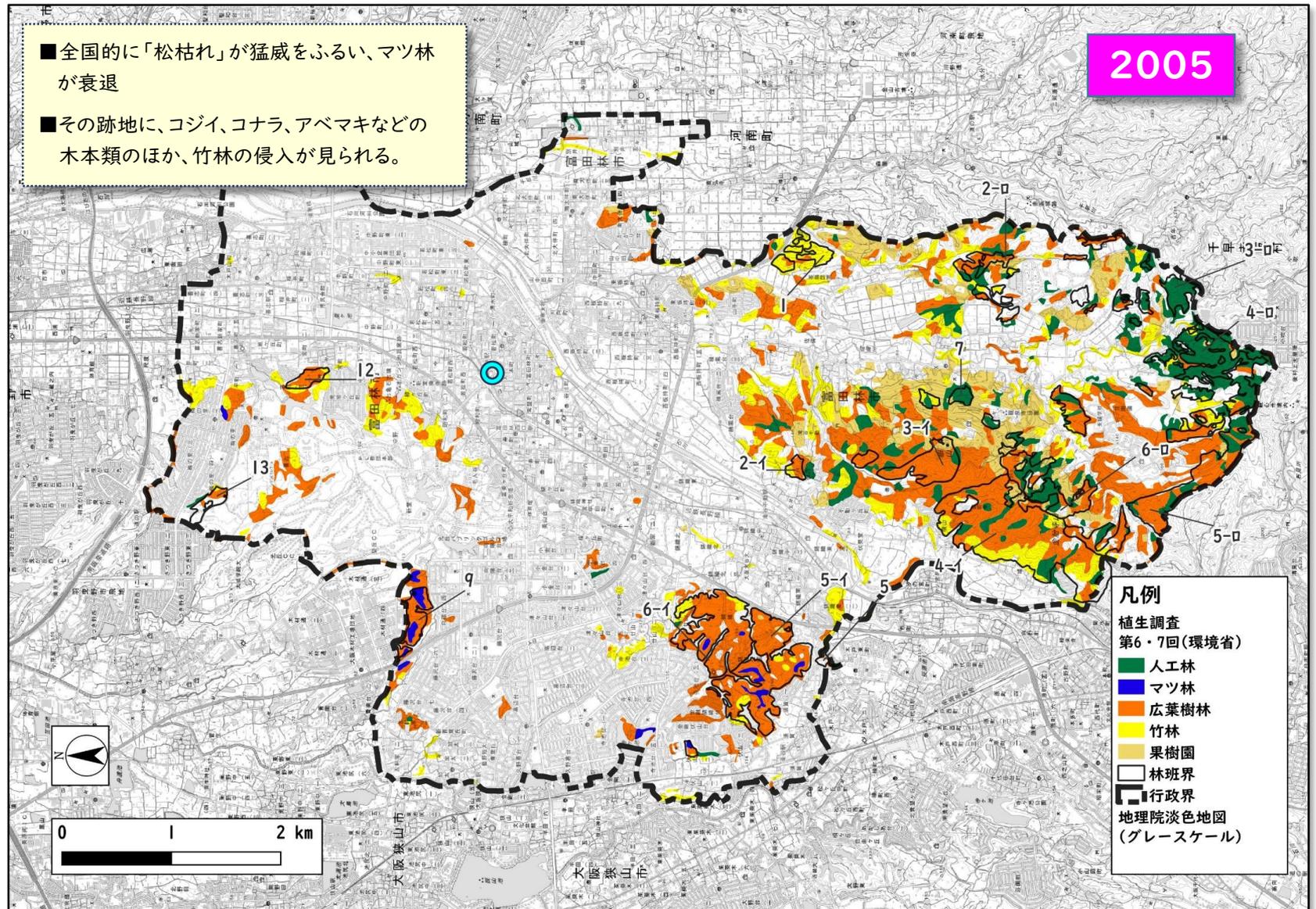
地理院淡色地図  
(グレースケール)



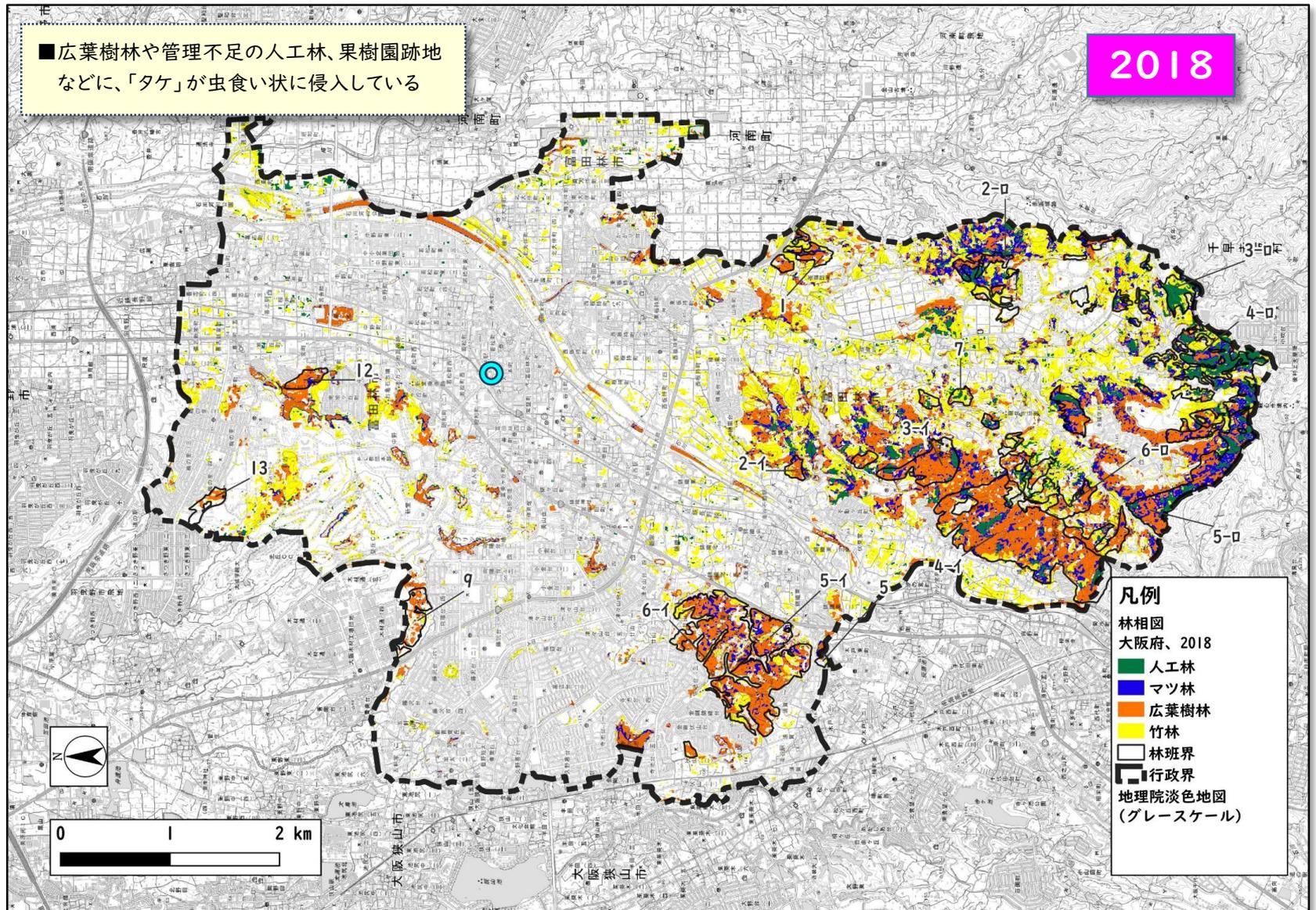
# 植生の変遷【1986】



# 植生の変遷【2005】



# 植生の変遷【2018】



# 植生の変遷【2005】

■40年ほど前には、市域の森林の半分強に「マツ林」が広がっており、「果樹園（主にミカン畑）」、「人工林（スギ・ヒノキ林）」がそれに次いでいた。

■その後、全国的に「松枯れ」が猛威をふるい、マツ林が衰退した跡地にソヨゴ、コジイ、コナラ、アベマキなどの木本類のほか、竹林の侵入が見られる。

■現在では、廃園となった果樹園や管理不足の人工林に、竹林が侵入することで、その区域を拡大させている。

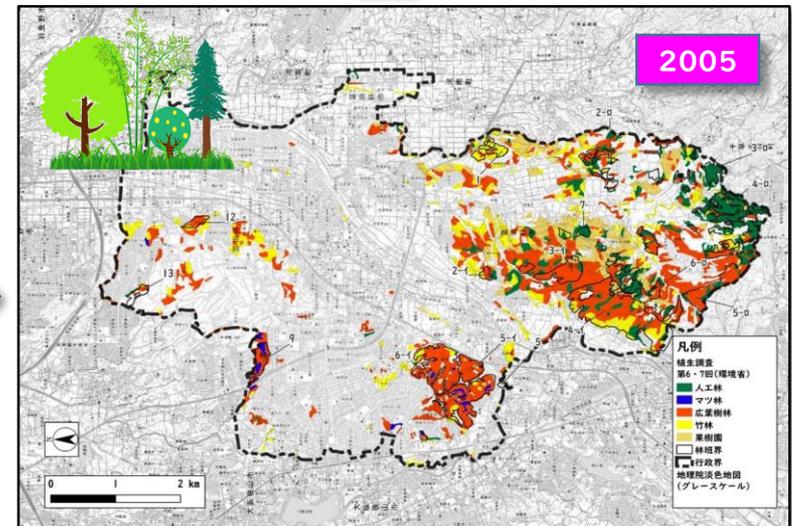
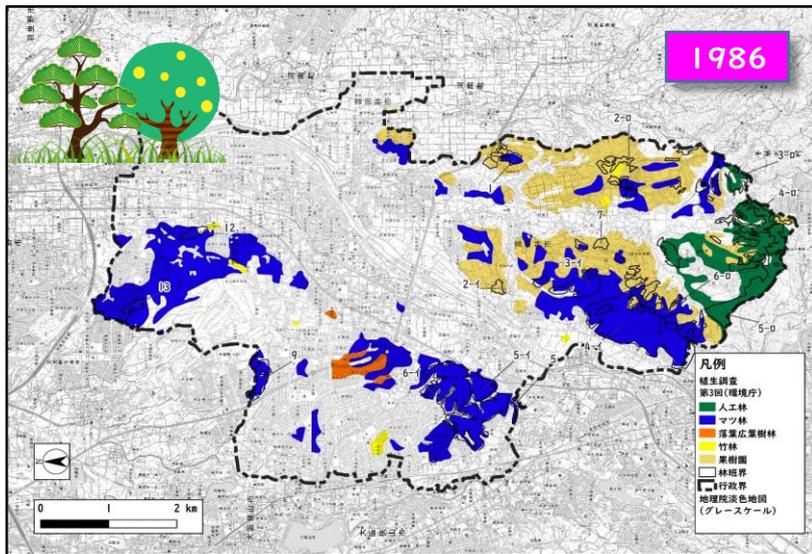
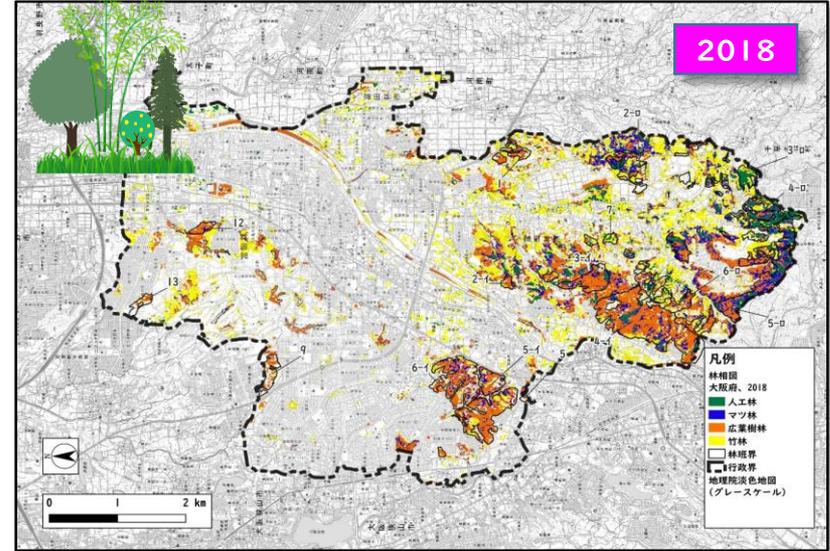


## 凡例

### 林相図

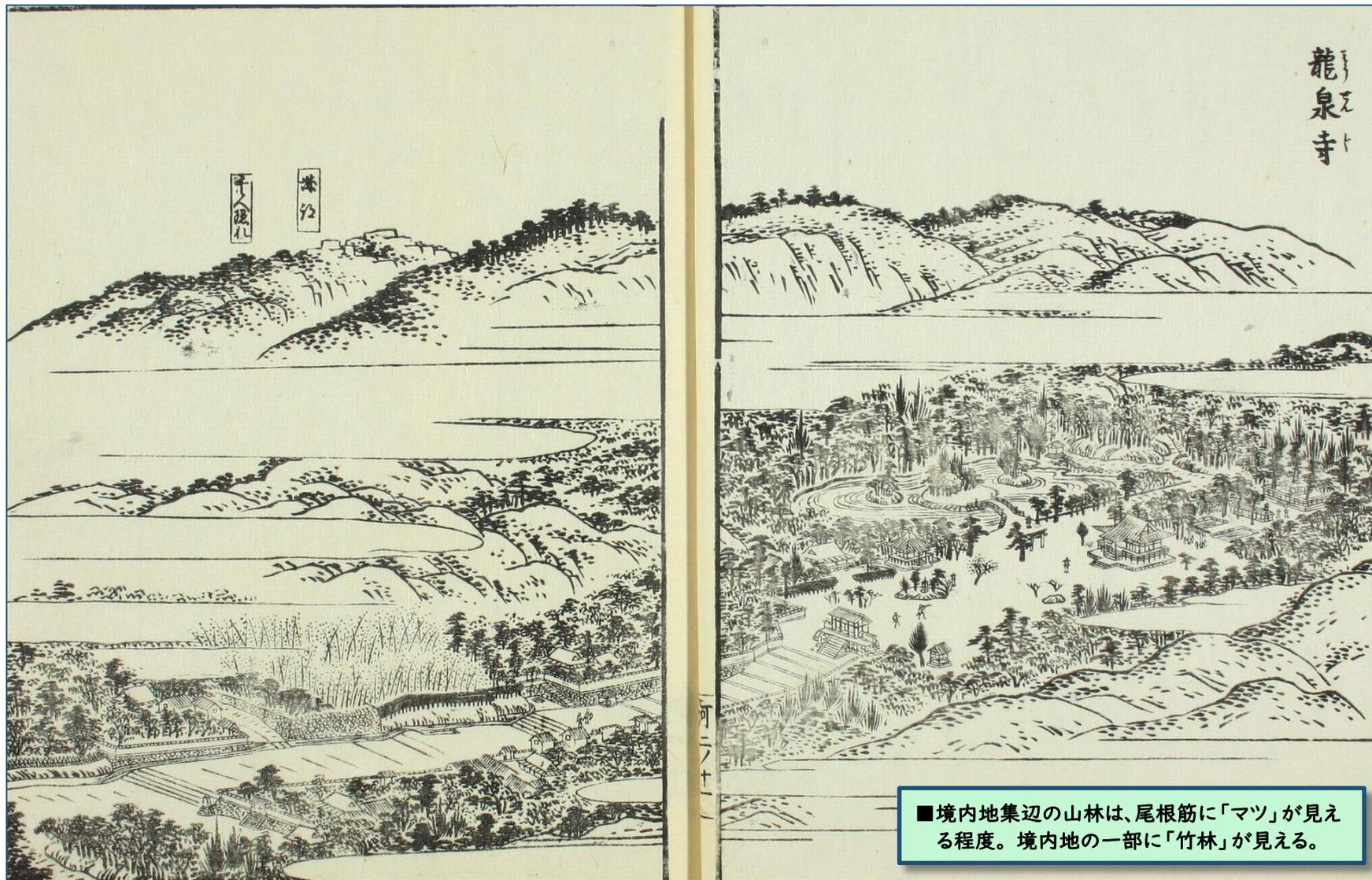
- 人工林
- マツ林
- 広葉樹林
- 竹林
- 林班界

地理院標準地図

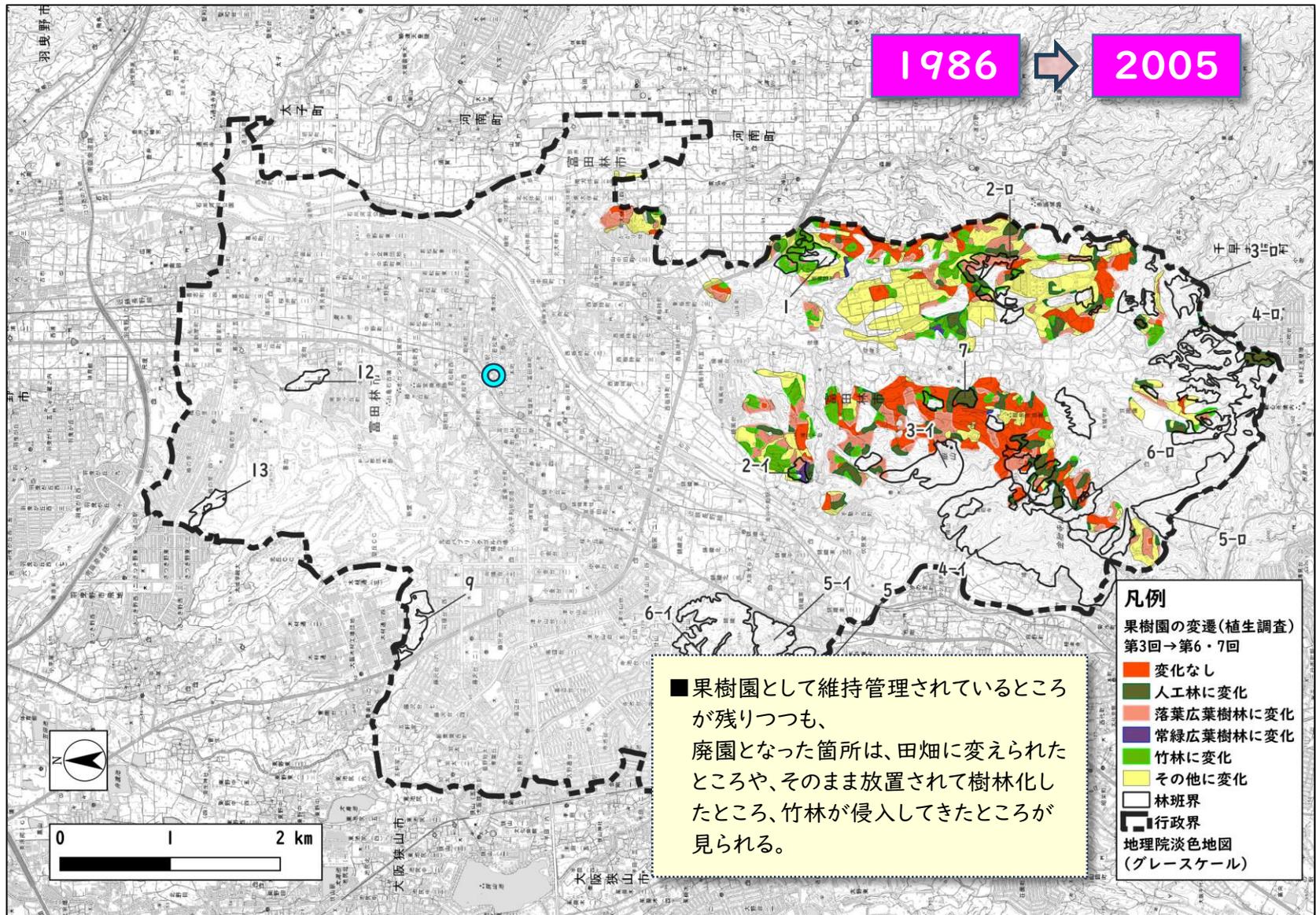


# 江戸時代後期の龍泉寺付近【河内名所図会より】

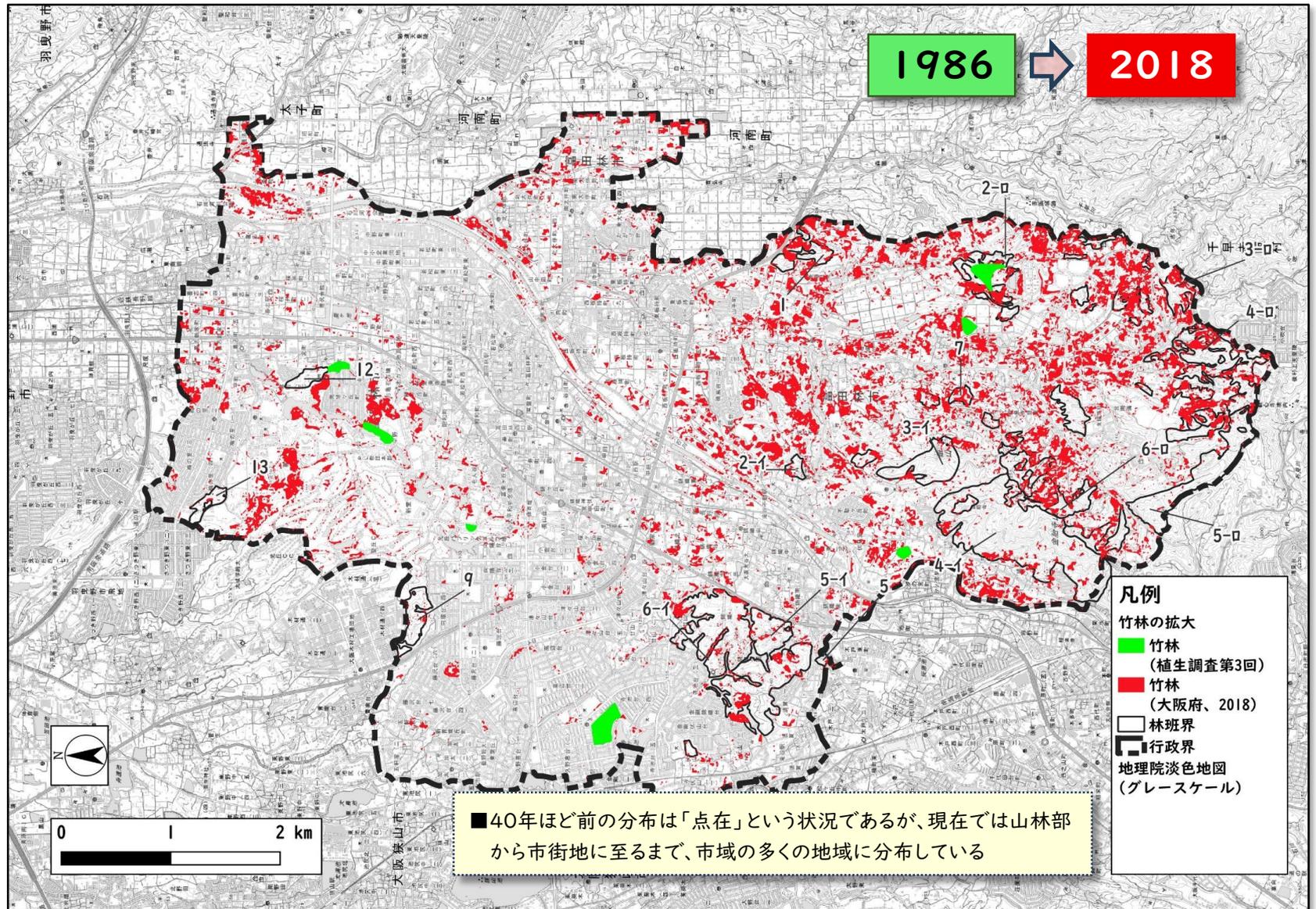
■『河内名所図会 2巻13 龍泉寺』



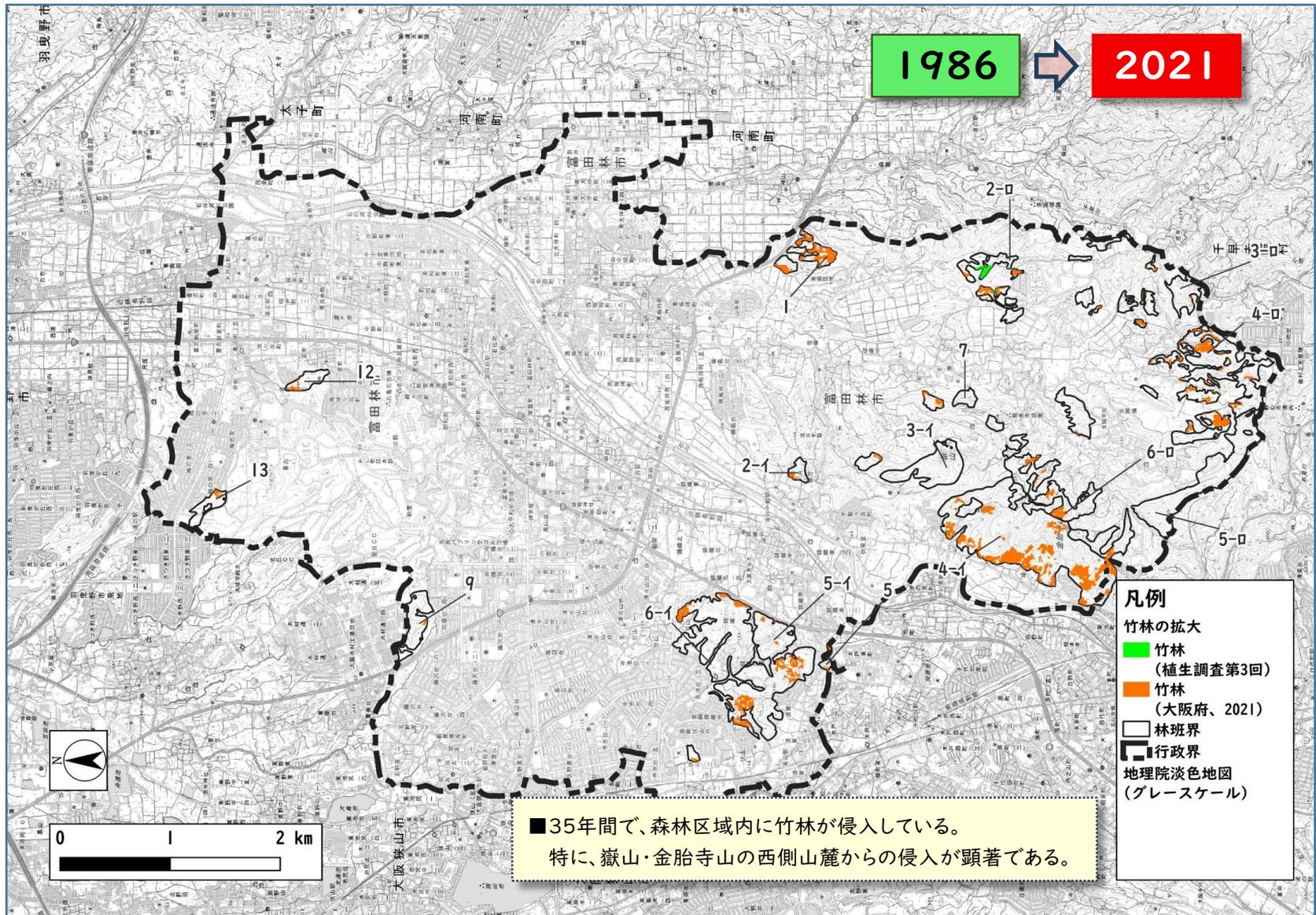
# 果樹園の変遷【1986~2005】



# 竹林の変遷【1986~2021】 ※市域全域

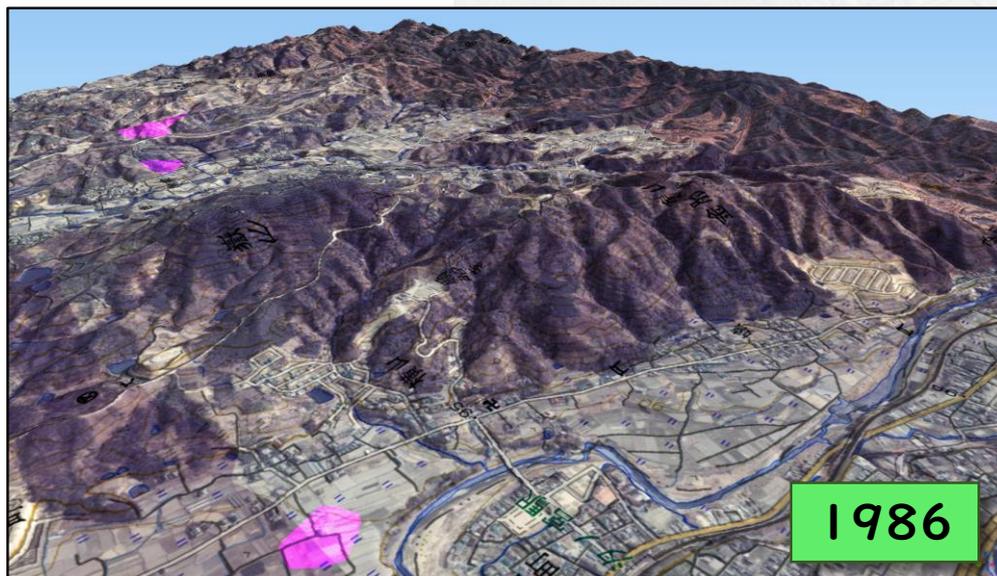
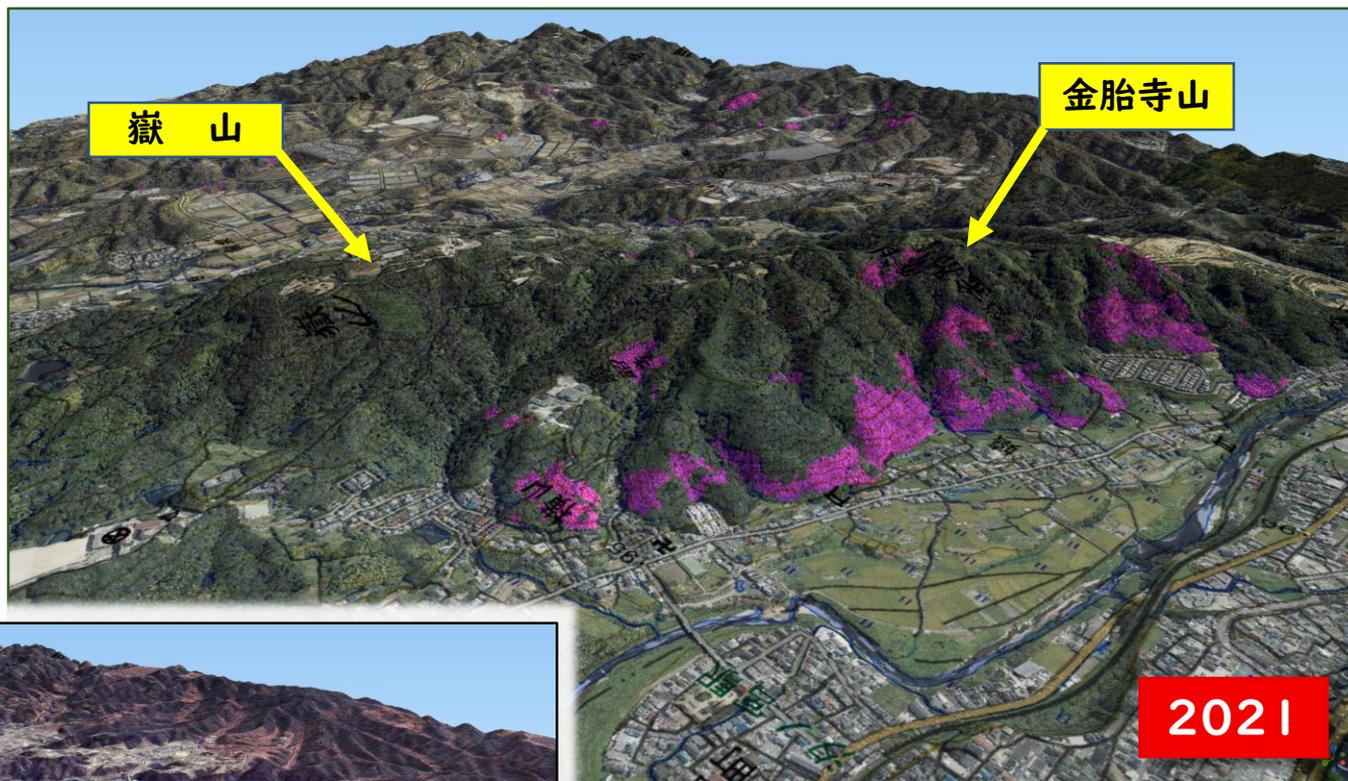


# 竹林の変遷【1986~2021】 ※森林区域内のみ表示



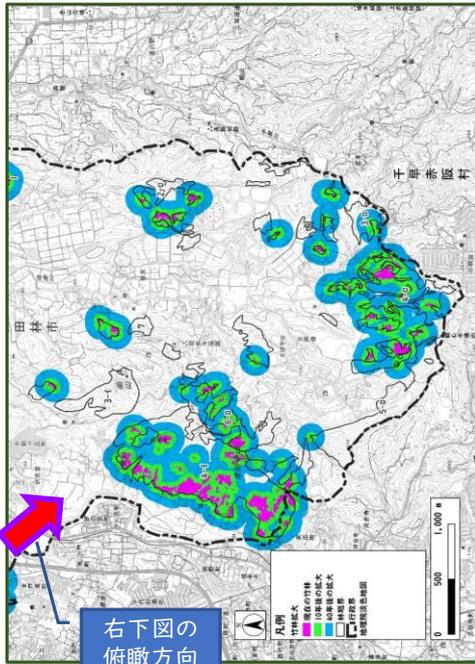
# 竹林の変遷【1986~2021】 ※森林区域内のみ表示

■35年間で、森林区域内に竹林が侵入している。特に、嶽山・金胎寺山の西側山麓からの侵入が顕著である。



# 竹林の変遷(予測)【10年後・40年後】

■市街地部より間近に見える「嶽山・金胎寺山西側斜面」が、10年後には半分以上が、40年後にはほぼ全面が「竹林」に覆われることが予測される。  
(現況を放置した場合)



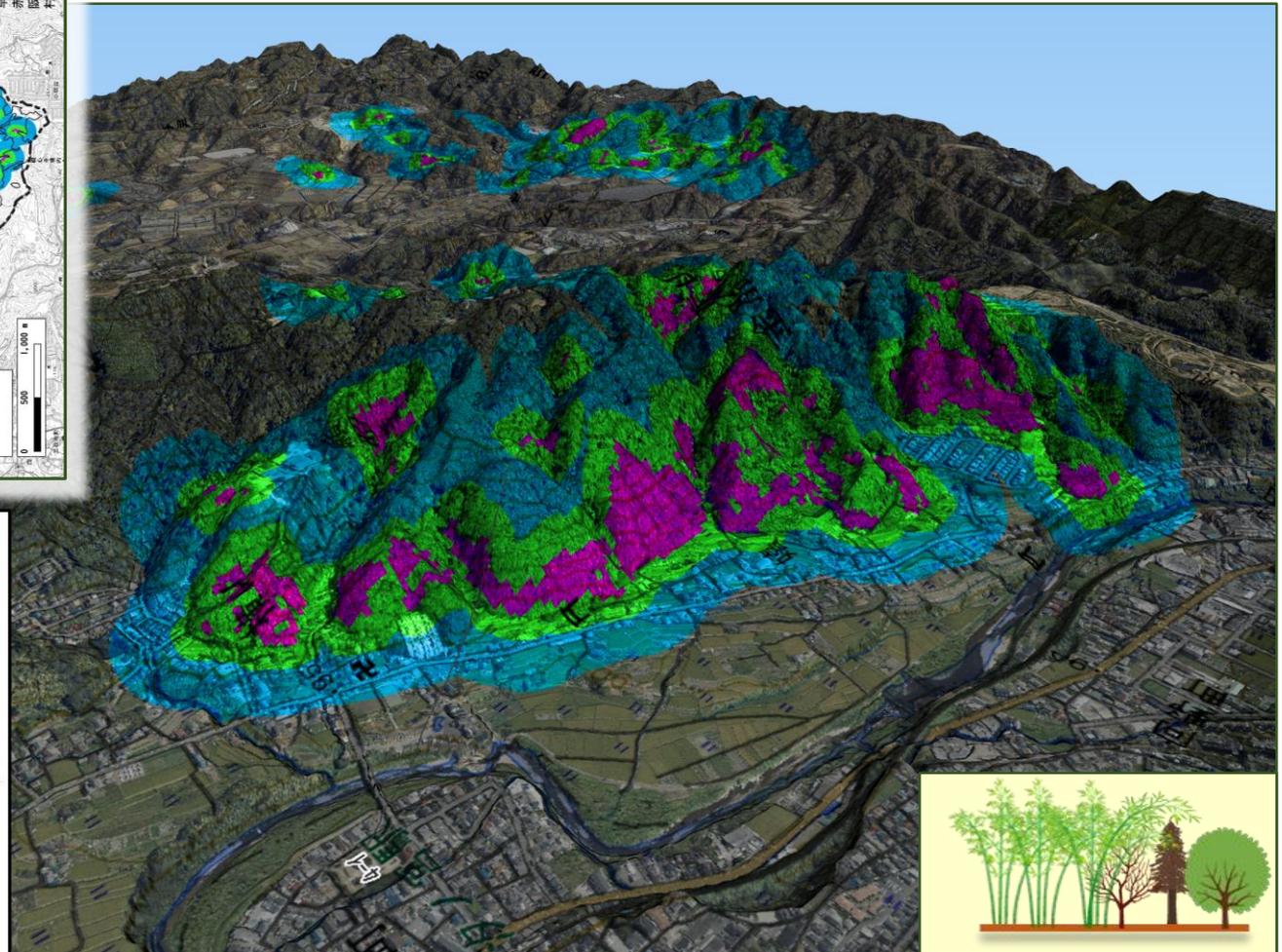
## 凡例

### 竹林拡大

- 2021年の竹林
- 2031年の竹林
- 2061年の竹林

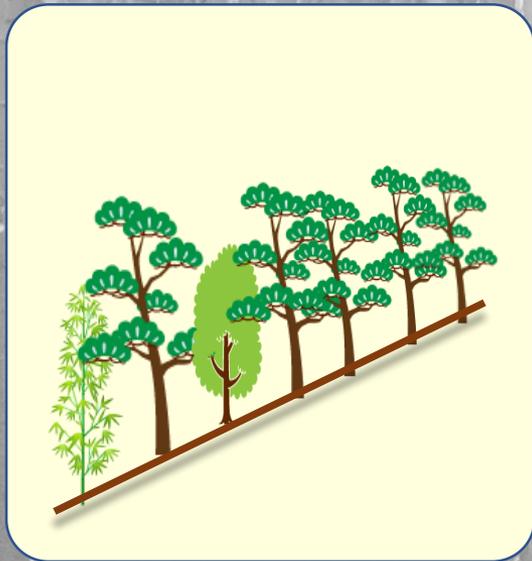
※竹林拡大速度を  
4m/年と仮定

地理院淡色地図

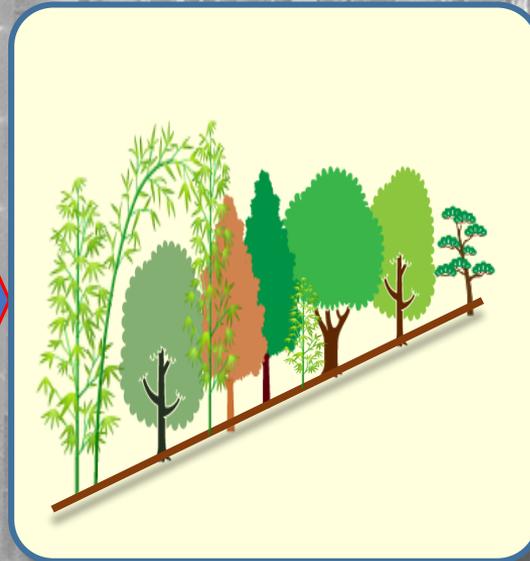


# 竹林の変遷(予測)【40年前・現在・40年後】

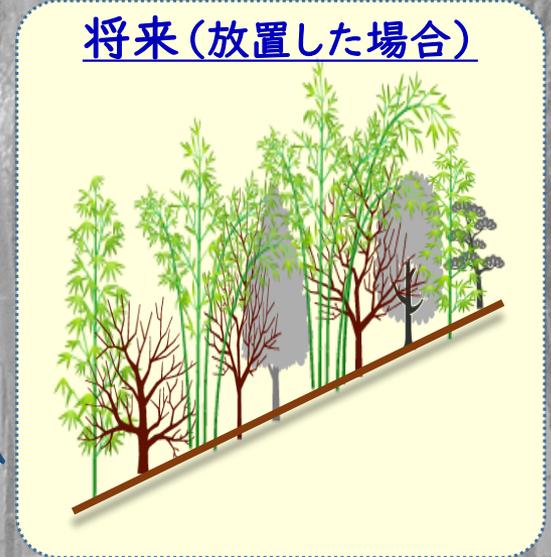
40年ほど前



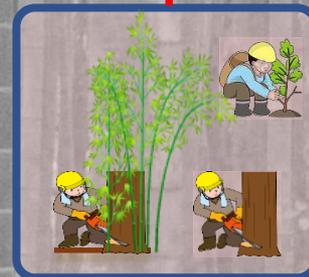
現在



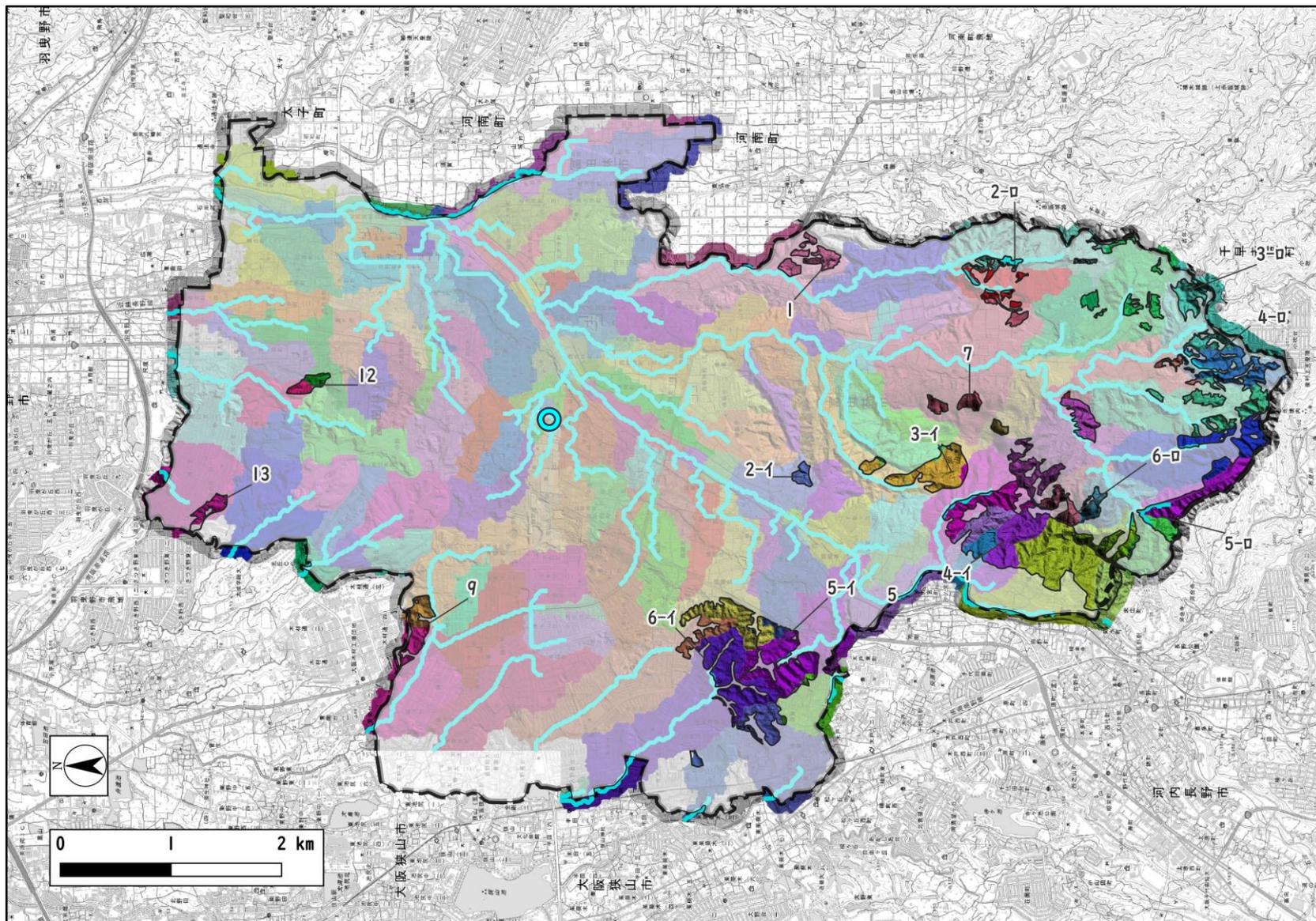
将来(放置した場合)



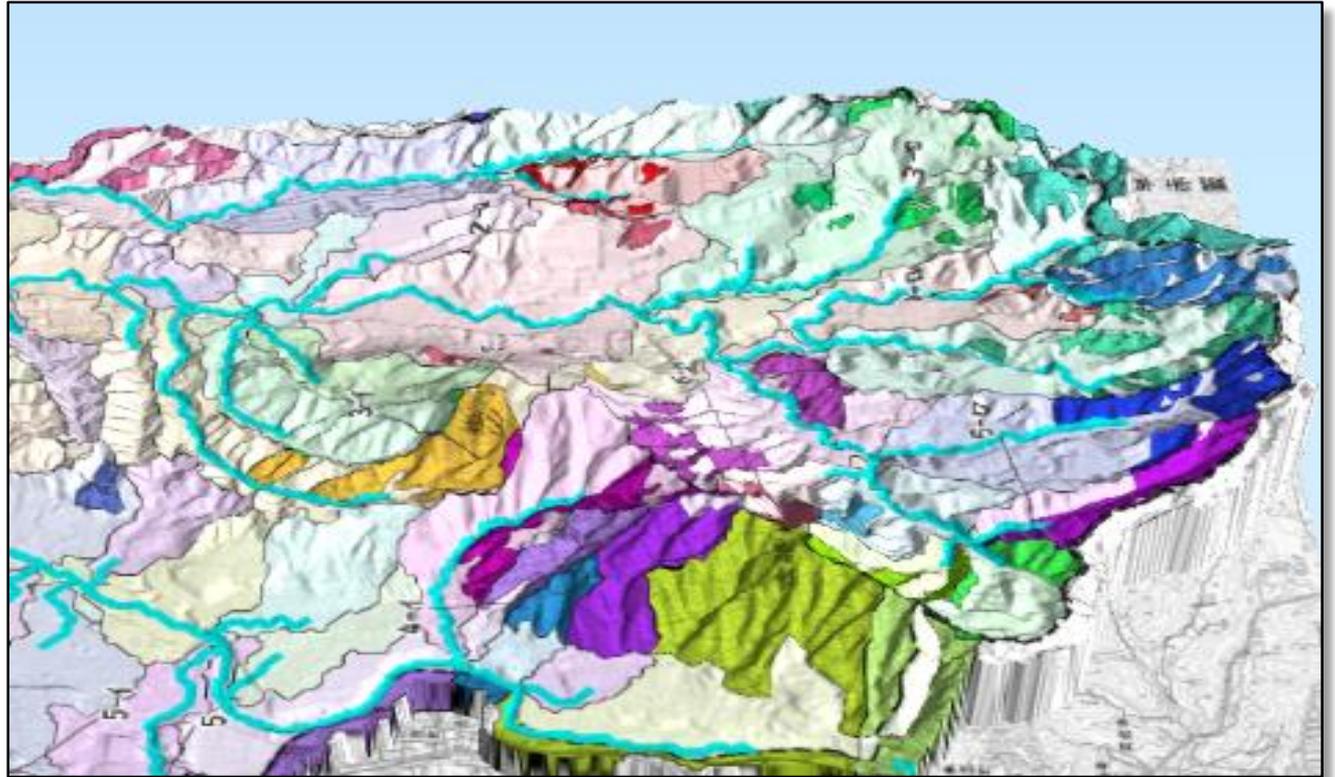
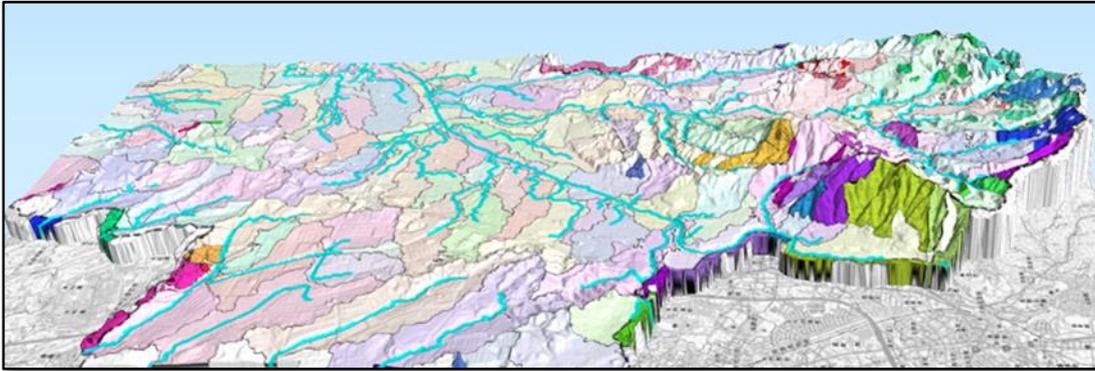
将来(整備した場合)



# 市域の流域 (小流域別に着色 ※森林区域内のみ濃色)



# 市域の流域（森林区域内着色）



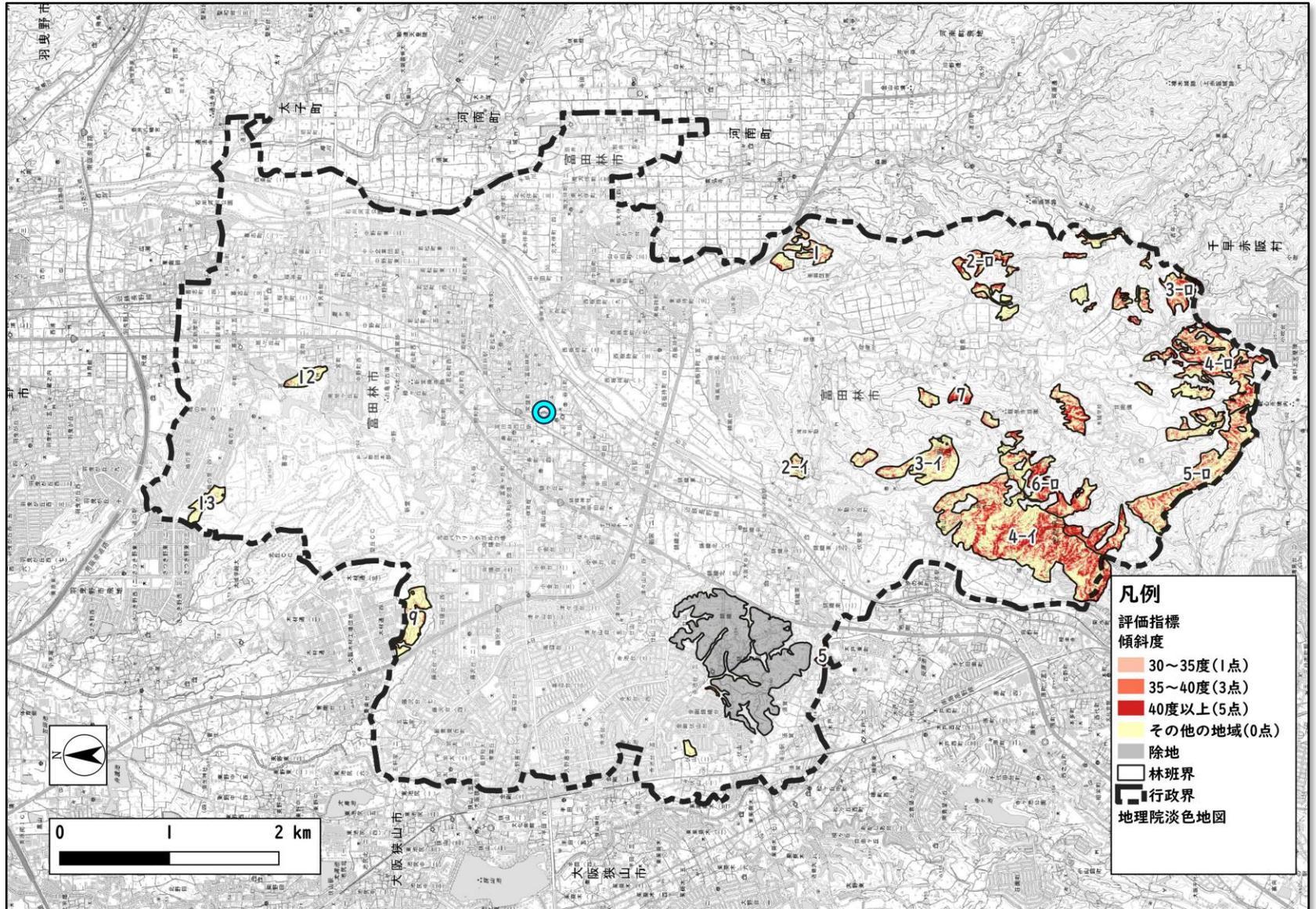
# 森林整備の必要性の評価【評価項目一覧】

## 評価項目の設定（R5 富田林市森林整備調査業務）

### ■評価項目（富田林市版）

	<b>収量比数</b> （間伐の必要度）	<b>林相区分</b> （竹林の分布）	<b>地形</b> （傾斜度）	<b>山地災害危険地区</b>	<b>地質</b> （花崗岩）	<b>農地</b> （獣害危険度）
<b>評価 点数</b>	0.80以上 :5点 0.75~0.80 :3点 0.70~0.75 :1点 0,70 未満 :0点	竹林:5点	35度以上 :5点 30~35度 :3点 30度未満 :1点	区域内:3点	花崗岩:3点	農地からの離隔 20m以内:3点
<b>備考</b>	<p>■人工林の評価の精度を上げるために評価項目として採用</p> <p>《収量比数とは、ある樹高での本数密度の上限を見たときの相対的な混み具合。数値が大きいかほど混み合っており間伐が必要となる。》</p>	<p>■災害発生、獣害発生の両面から、評価項目として採用</p> <p>◆災害発生面</p> <p>◇竹林の拡大速度は極めて速く、既存樹林地への侵入は、既存樹木を日照不足から枯死させる危険性が高い。また、竹の根茎は地下0.5mという浅いところを伸長し、斜面地の表層崩壊の抑制力は脆弱になる</p> <p>◆獣害発生面</p> <p>◇薄暗く密生した竹林は、シカやイノシシが山から出てくる「前線基地」となりうる。また、「タケノコ」はイノシシに対して食料提供することになる</p>	<p>■災害発生及び発生規模への影響が大きいと考えることから、評価項目として採用</p>	<p>■災害発生の危険度の一つの指標として採用</p> <p>《山地災害危険地区とは、都道府県や林野庁が、人家や病院、学校、道路等の公共施設などに直接被害がおよぶおそれがある地区の内、危険度が基準以上のところ》</p>	<p>■花崗岩質は、風化が早く、土砂災害発生の危険性が高いと考えられることから、評価項目として採用</p>	<p>■イノシシによる農業被害は、山林と農地が接している部分からの侵入が多く見られることから、評価項目として採用</p>

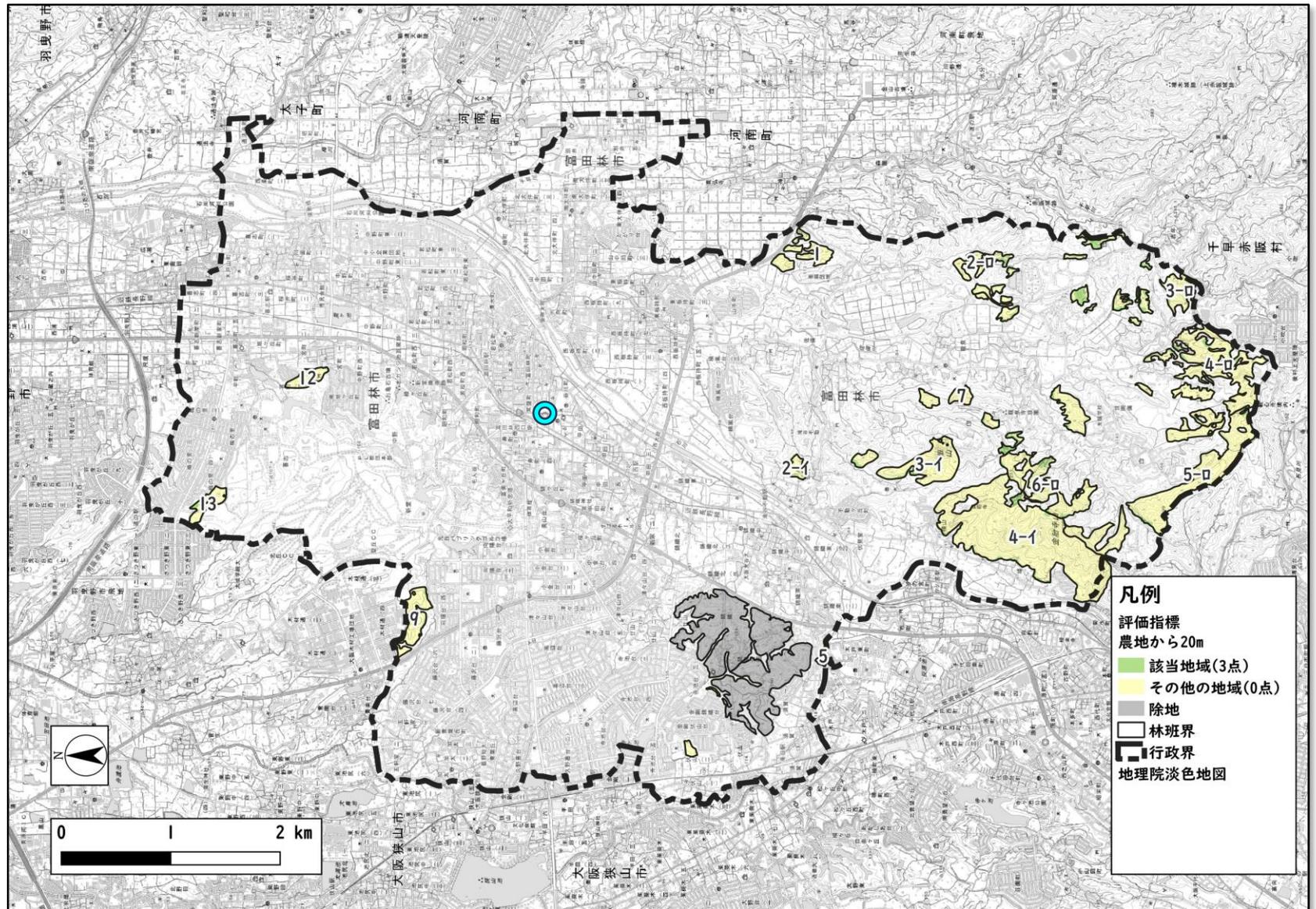
# 森林区域の急傾斜地【市域全域版】



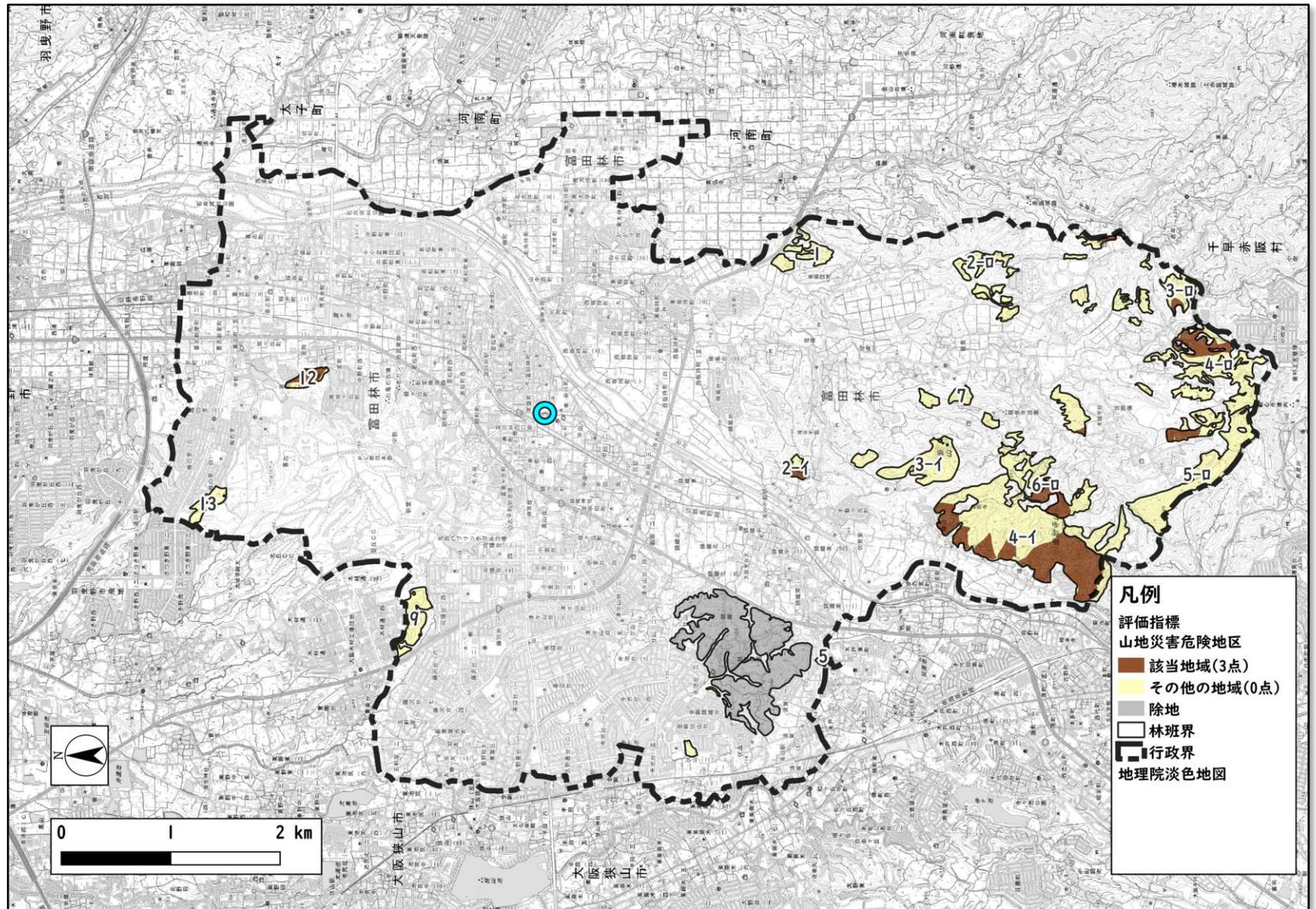




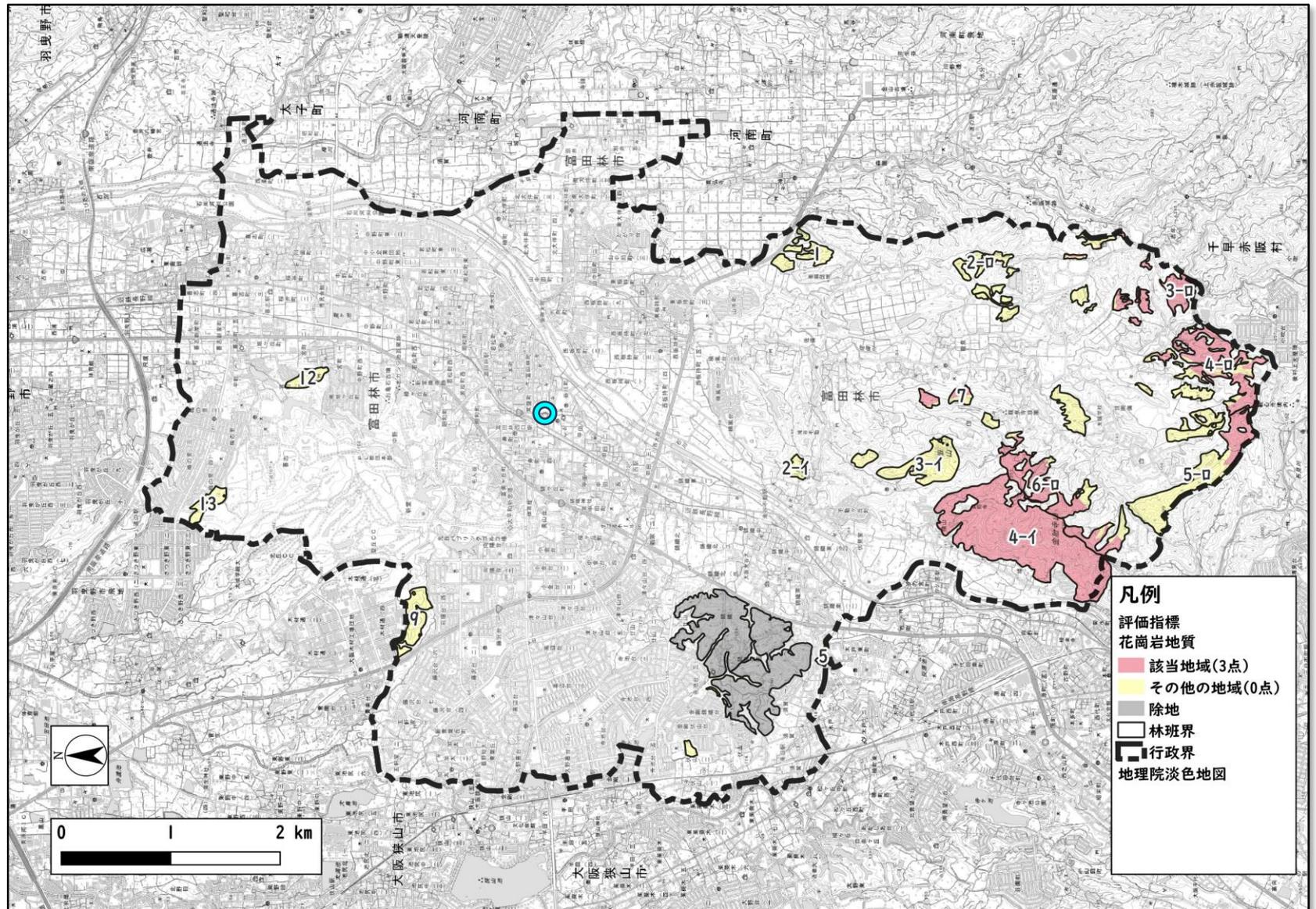
# 森林区域の農地隣接状況【市域全域版】



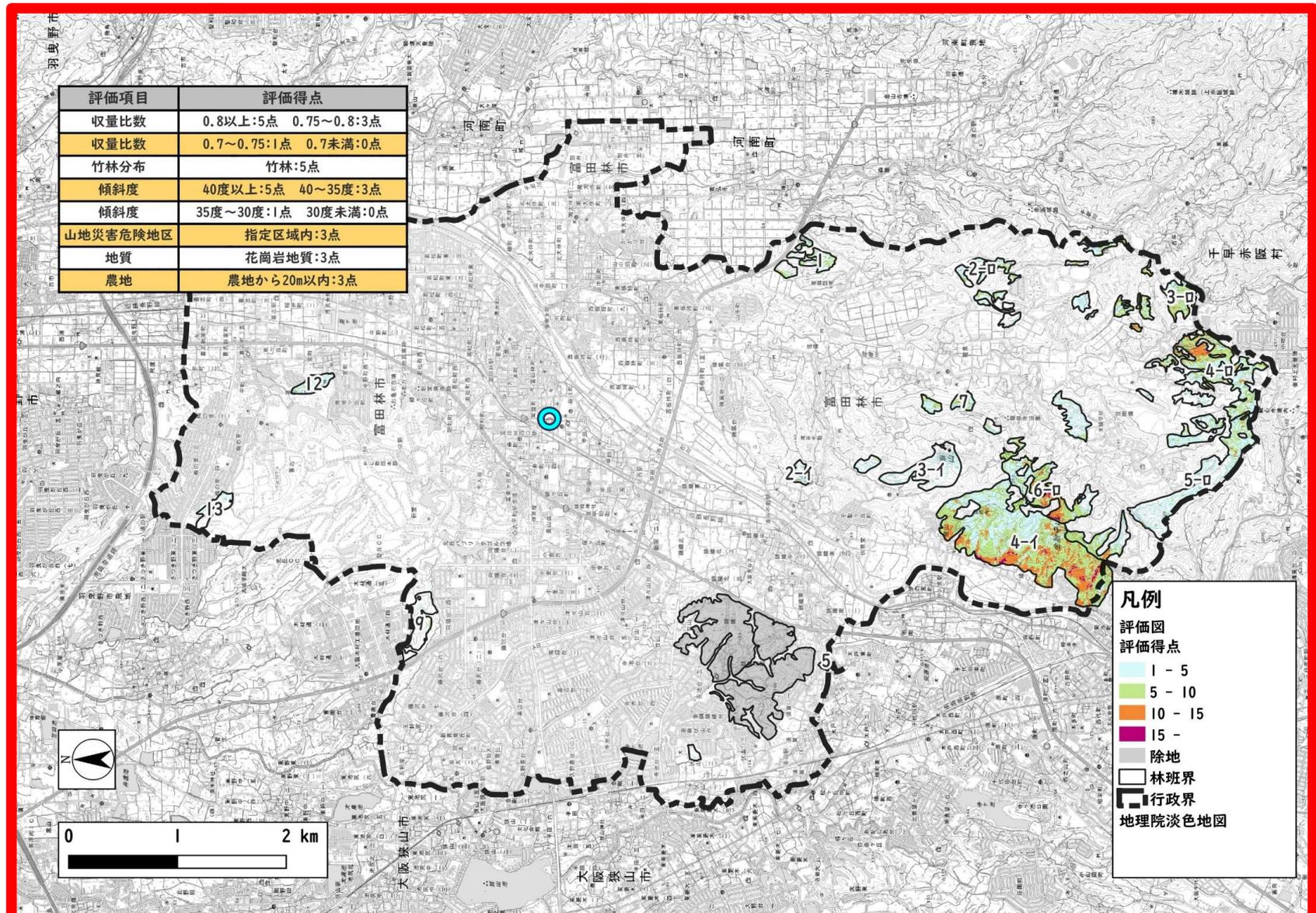
# 山地災害危険地区【市域全域版】



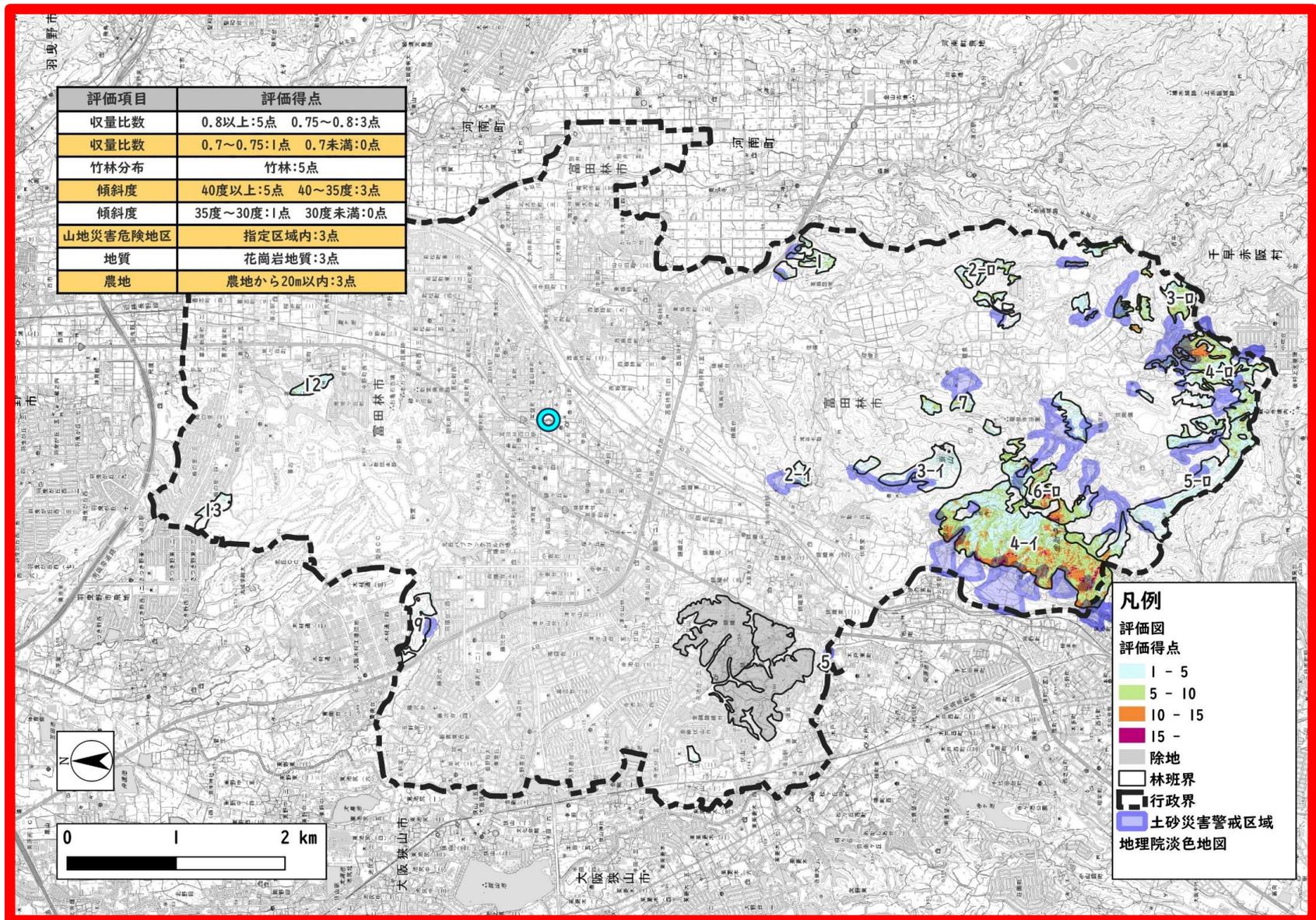
# 森林区域の花崗岩分布状況【市域全域版】



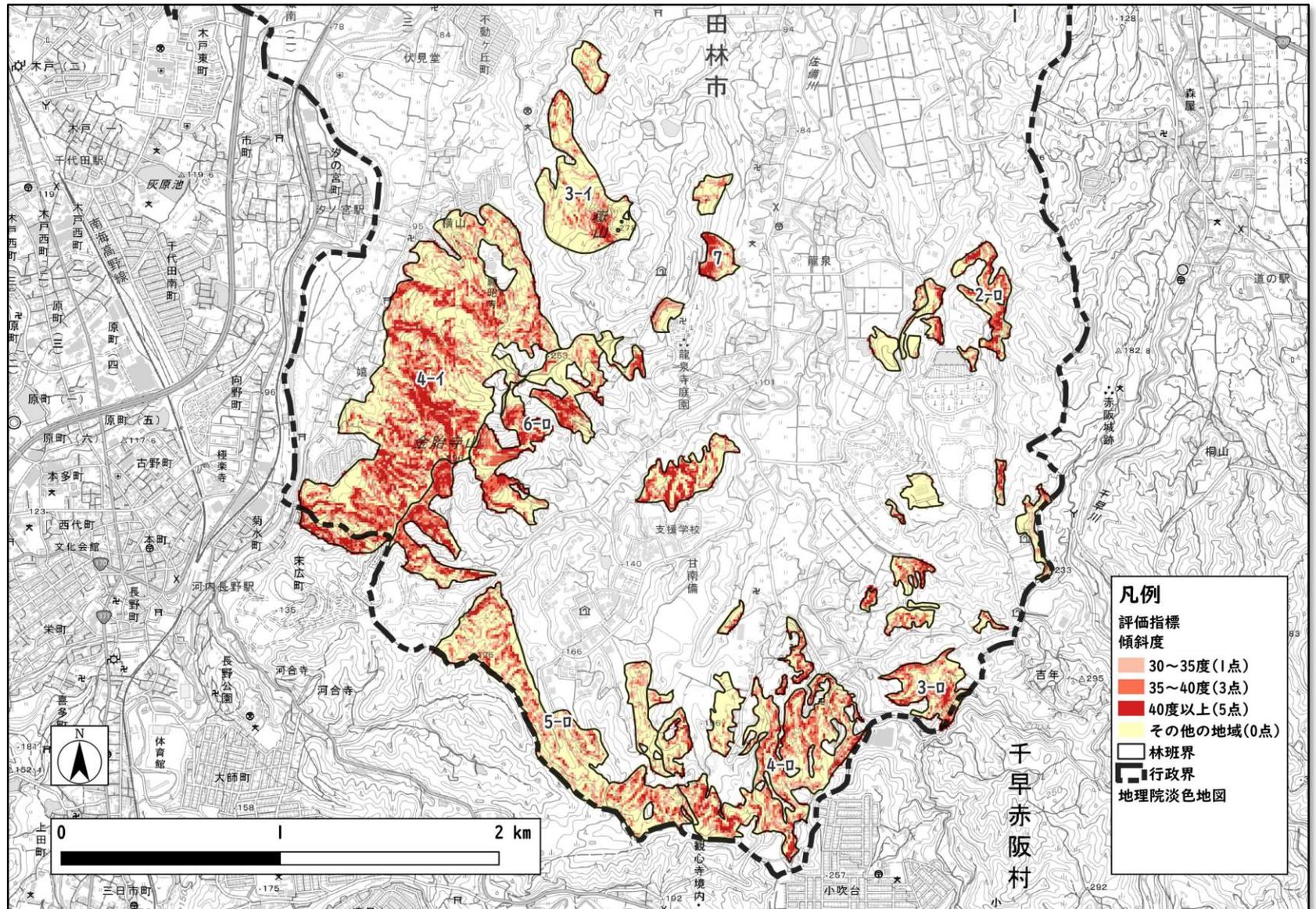
# 森林整備の緊急度評価【市域全域版】



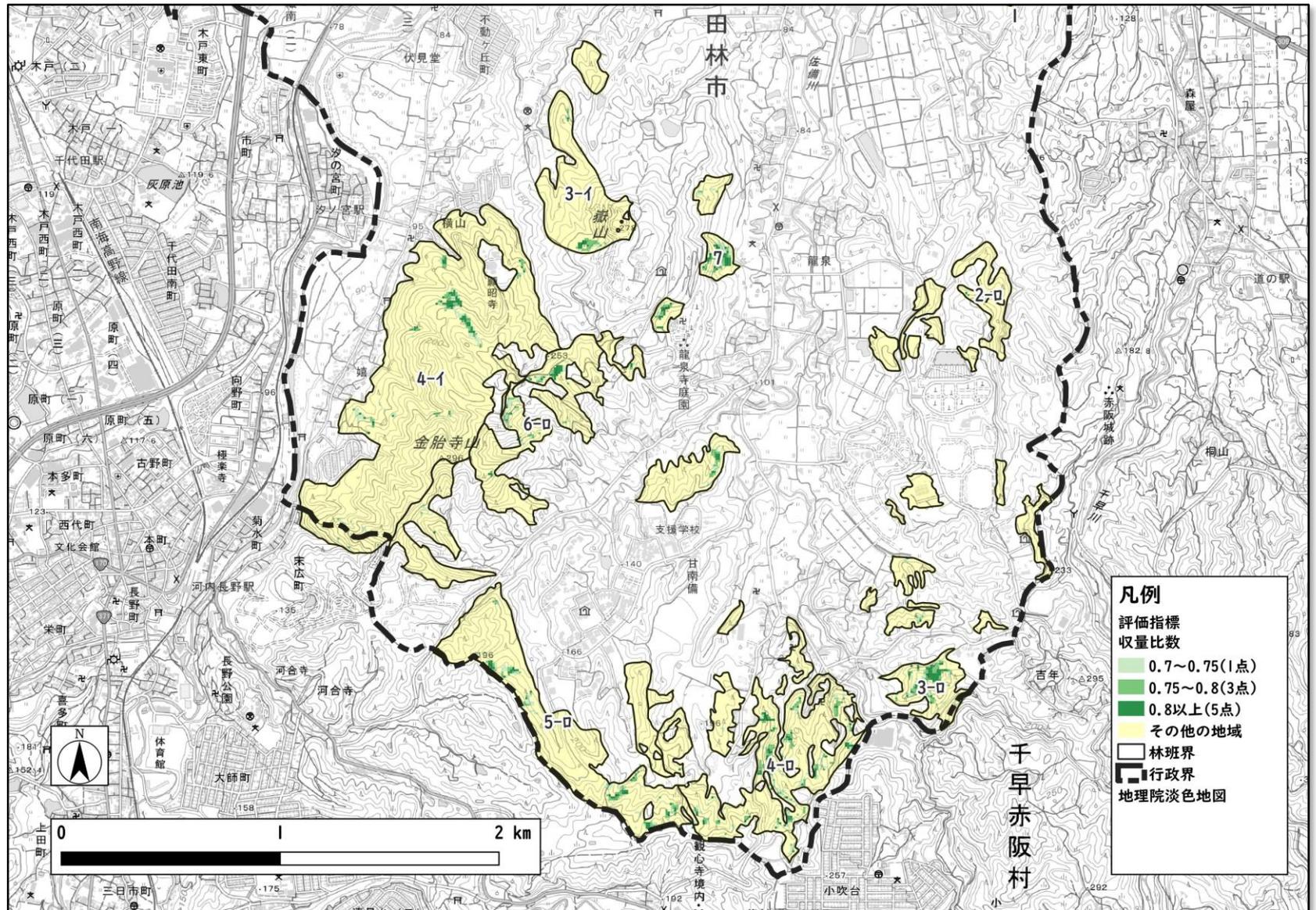
# 森林整備の緊急度評価【市域全域版・土砂災害警戒区域表示】



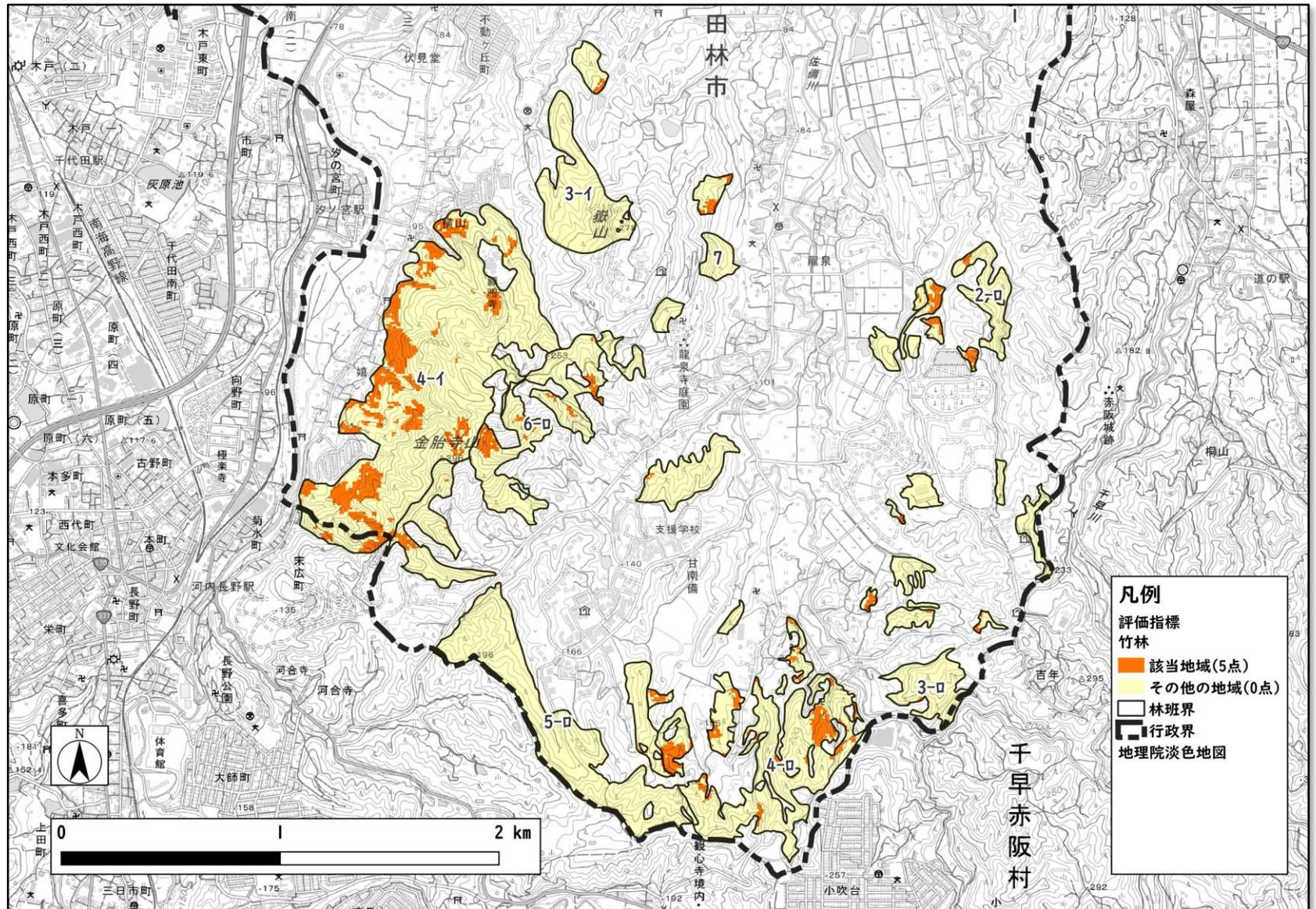
# 森林区域の急傾斜地【市域南部】



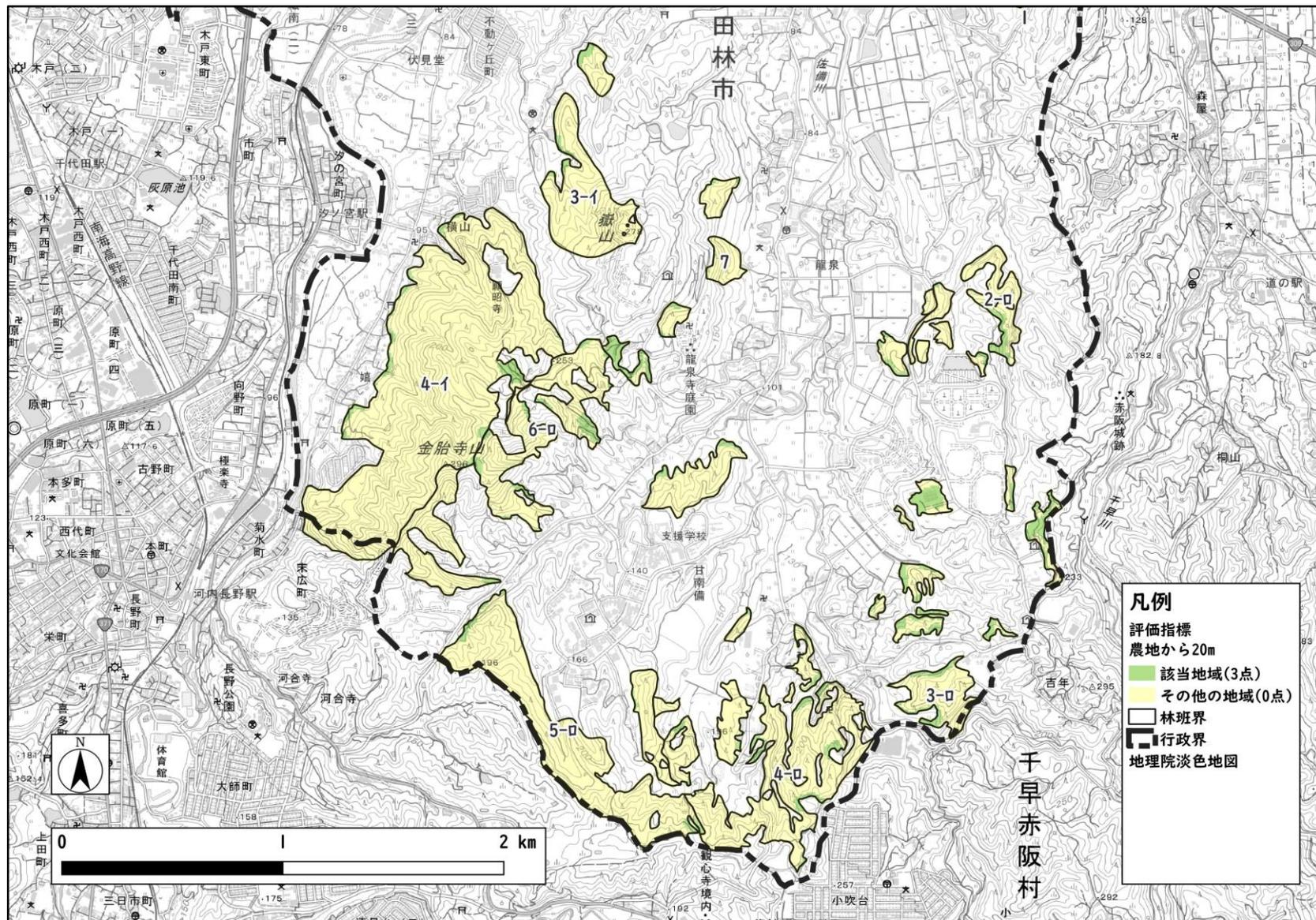
# 森林区域の人工林の混み具合【市域南部】



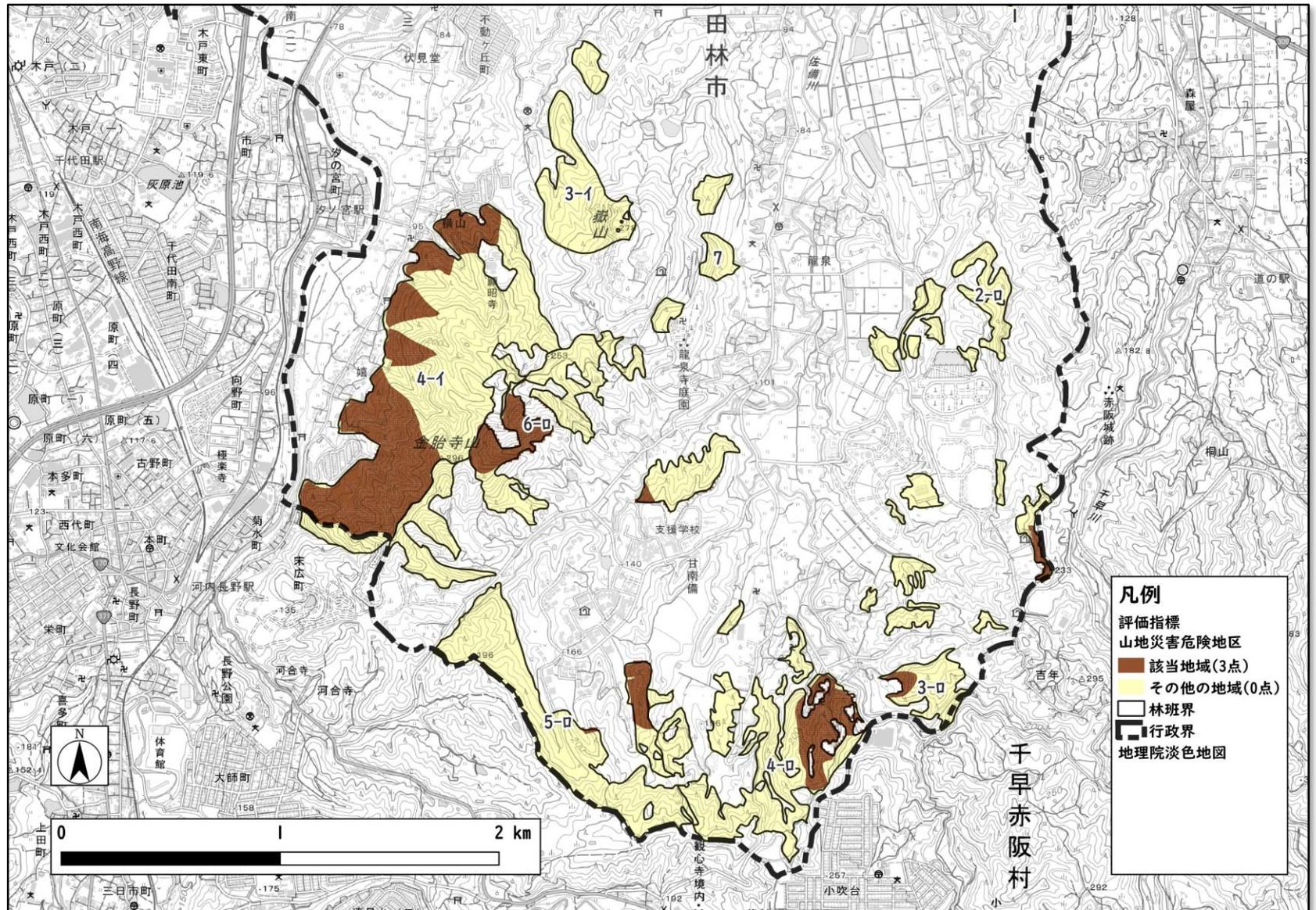
# 森林区域の竹林分布【市域南部】



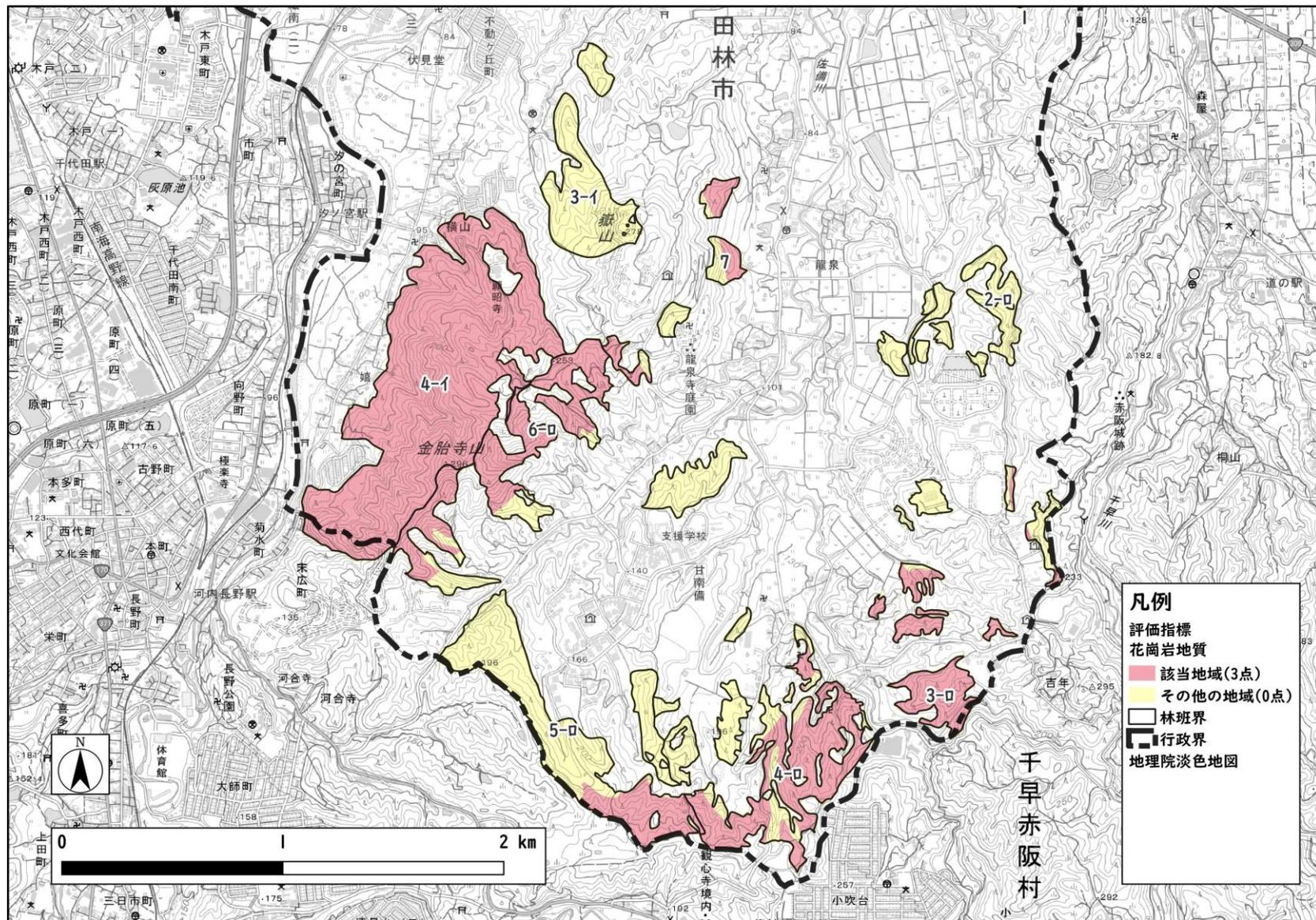
# 森林区域の農地隣接状況【市域南部】



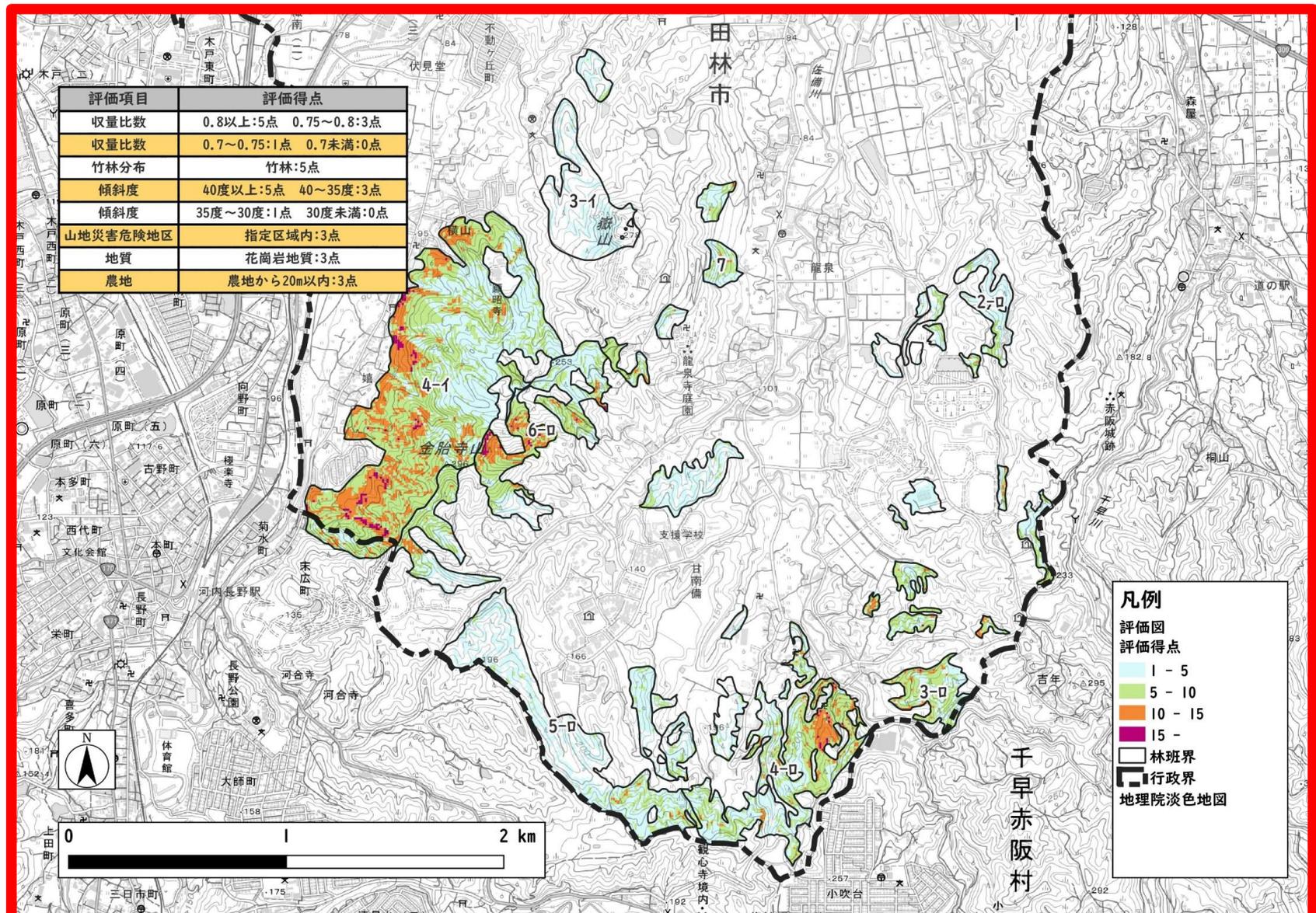
# 山地災害危険地区【市域南部】



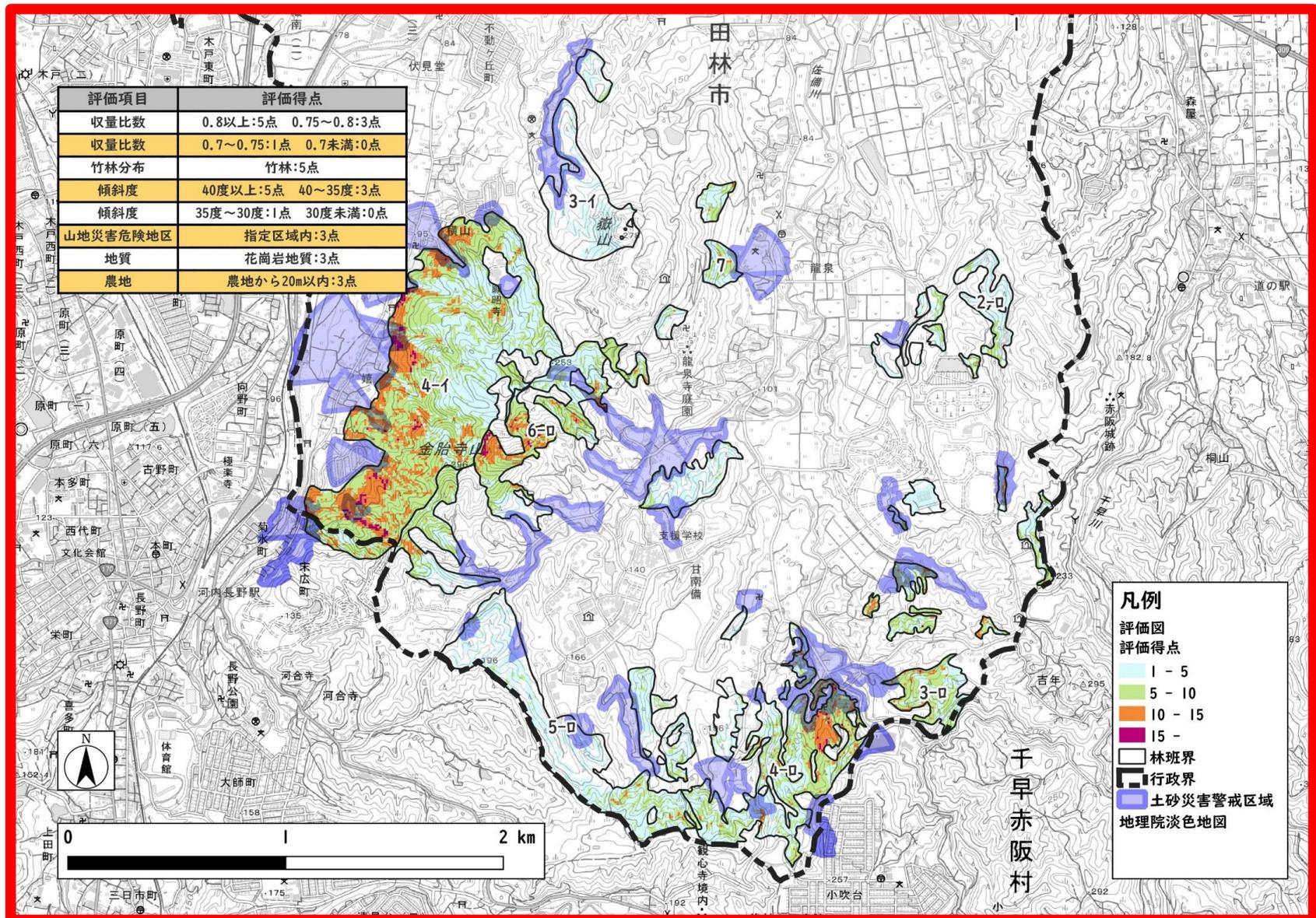
# 森林区域の花崗岩分布状況【市域南部】



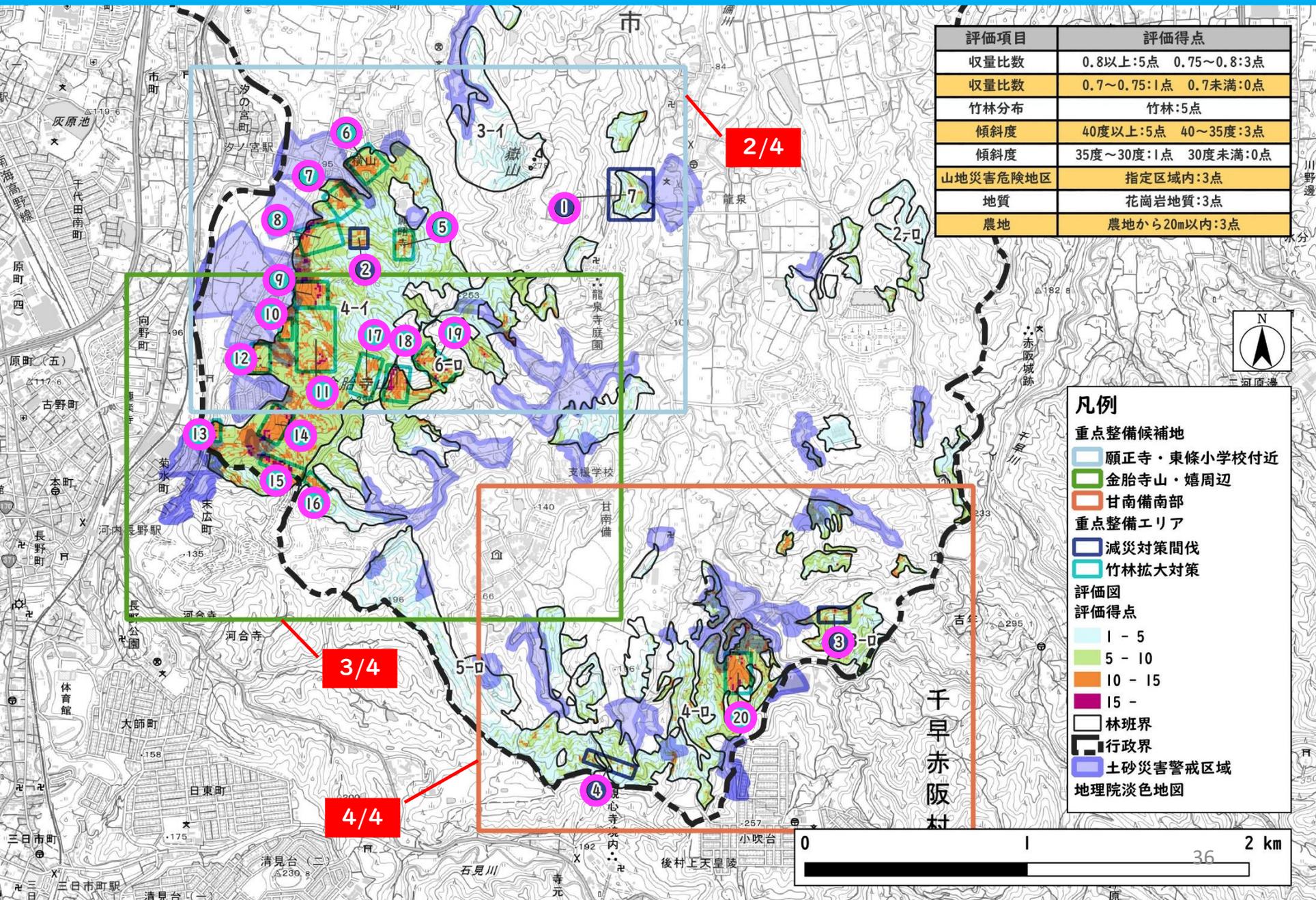
# 森林整備の緊急度評価【市域南部】



# 森林整備の緊急度評価【市域南部・土砂災害警戒区域表示】



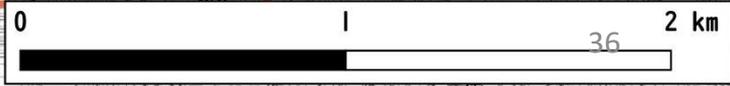
# 優先的森林整備候補地 《1/4》



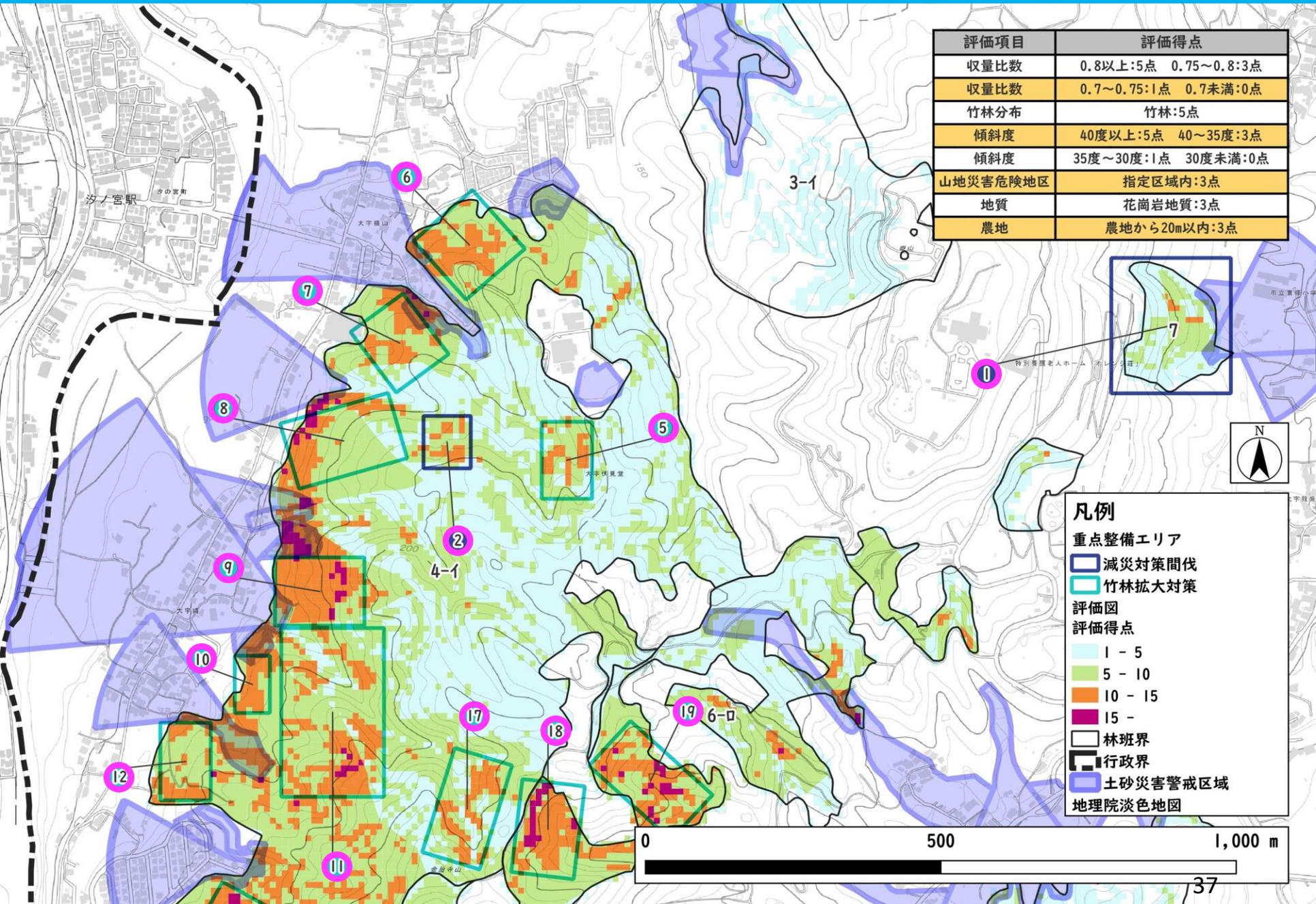
評価項目	評価得点
雨量比数	0.8以上:5点 0.75~0.8:3点
雨量比数	0.7~0.75:1点 0.7未満:0点
竹林分布	竹林:5点
傾斜度	40度以上:5点 40~35度:3点
傾斜度	35度~30度:1点 30度未満:0点
山地災害危険地区	指定区域内:3点
地質	花崗岩地質:3点
農地	農地から20m以内:3点

**凡例**

- 重点整備候補地
  - 願正寺・東條小学校付近
  - 金胎寺山・嬉周辺
  - 甘南備南部
- 重点整備エリア
  - 減災対策間伐
  - 竹林拡大対策
- 評価図
  - 評価得点
    - 1 - 5
    - 5 - 10
    - 10 - 15
    - 15 -
  - 林班界
  - 行政界
  - 土砂災害警戒区域
  - 地理院淡色地図



# 優先的森林整備候補地 《2/4》



評価項目	評価得点
収量比数	0.8以上:5点 0.75~0.8:3点
収量比数	0.7~0.75:1点 0.7未満:0点
竹林分布	竹林:5点
傾斜度	40度以上:5点 40~35度:3点
傾斜度	35度~30度:1点 30度未満:0点
山地災害危険地区	指定区域内:3点
地質	花崗岩地質:3点
農地	農地から20m以内:3点

**凡例**

重点整備エリア

- 減災対策間伐
- 竹林拡大対策

評価図

評価得点

- 1 - 5
- 5 - 10
- 10 - 15
- 15 -

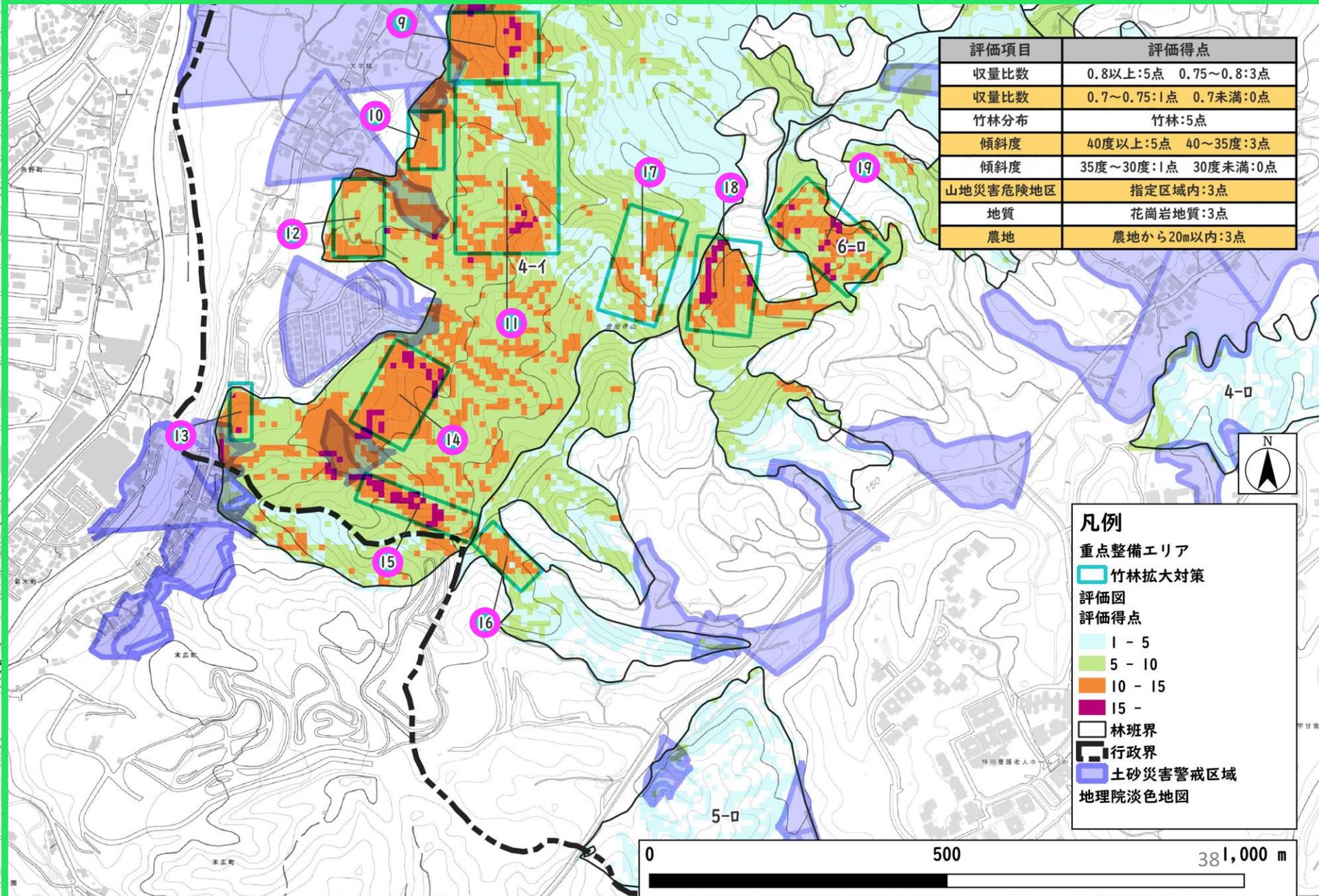
林班界

行政界

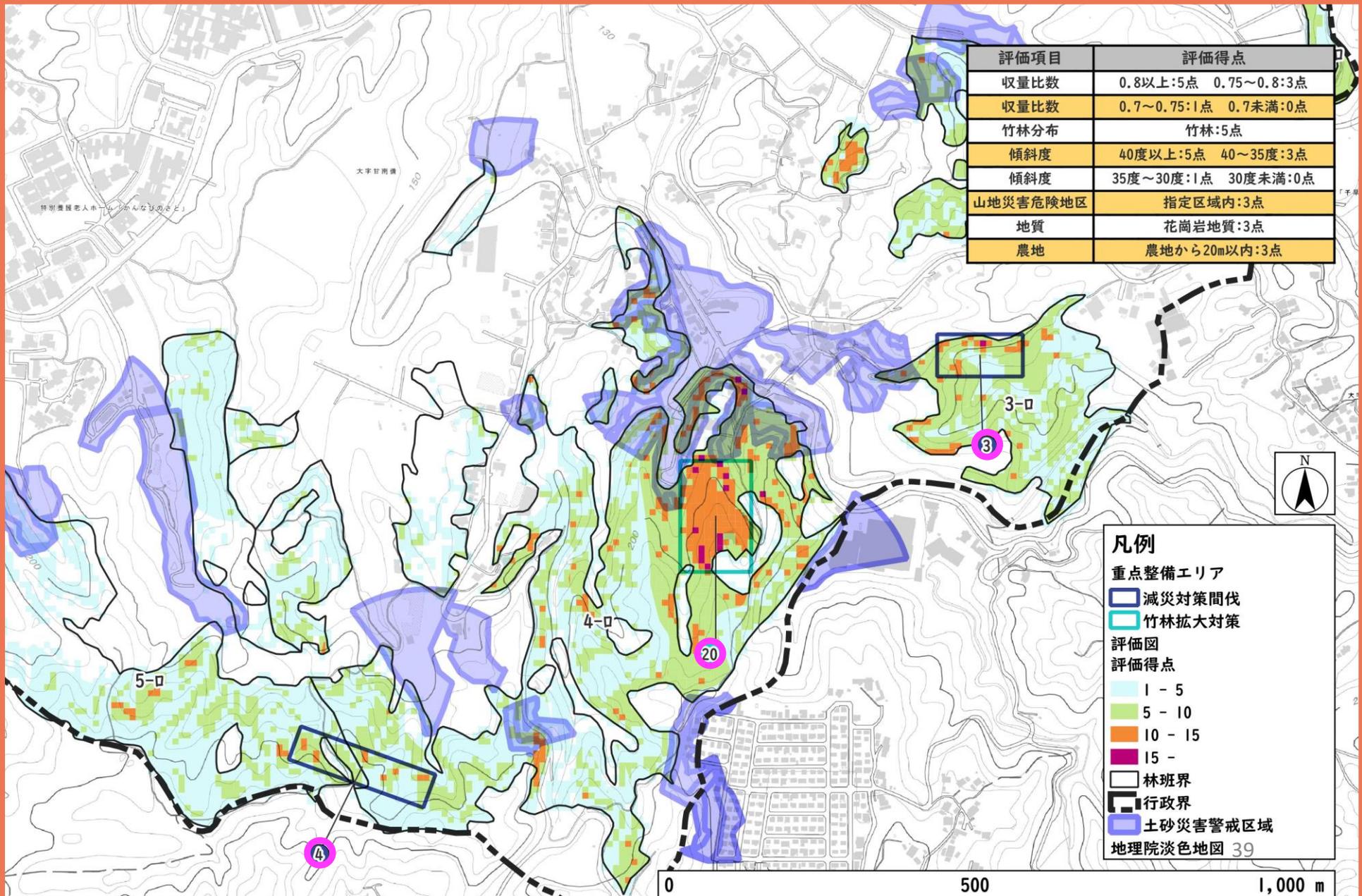
土砂災害警戒区域

地理院淡色地図

# 優先的森林整備候補地 《3/4》



# 優先的森林整備候補地 《4/4》



評価項目	評価得点
収量比数	0.8以上:5点 0.75~0.8:3点
収量比数	0.7~0.75:1点 0.7未満:0点
竹林分布	竹林:5点
傾斜度	40度以上:5点 40~35度:3点
傾斜度	35度~30度:1点 30度未満:0点
山地災害危険地区	指定区域内:3点
地質	花崗岩地質:3点
農地	農地から20m以内:3点

**凡例**

重点整備エリア

- 減災対策間伐
- 竹林拡大対策

評価図

評価得点

- 1 - 5
- 5 - 10
- 10 - 15
- 15 -

林班界

行政界

土砂災害警戒区域

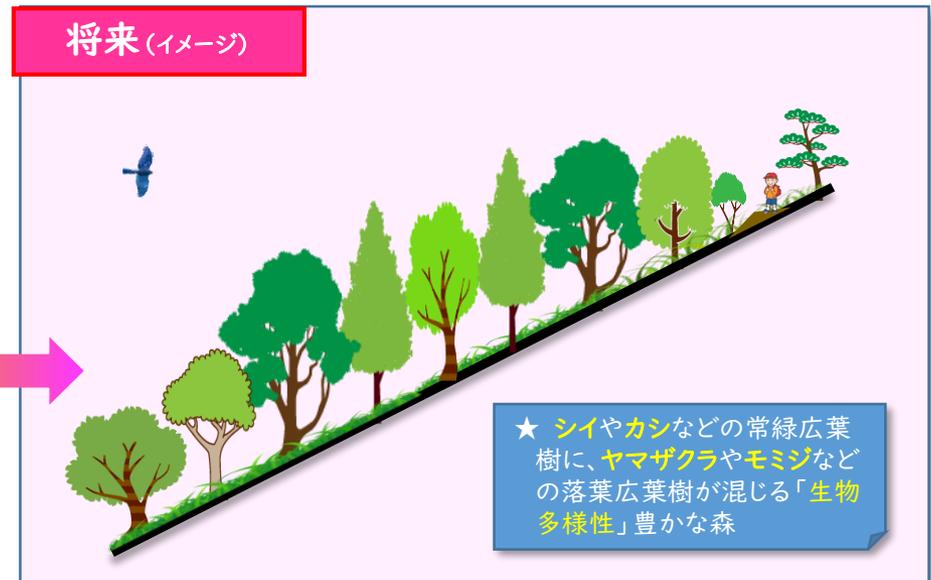
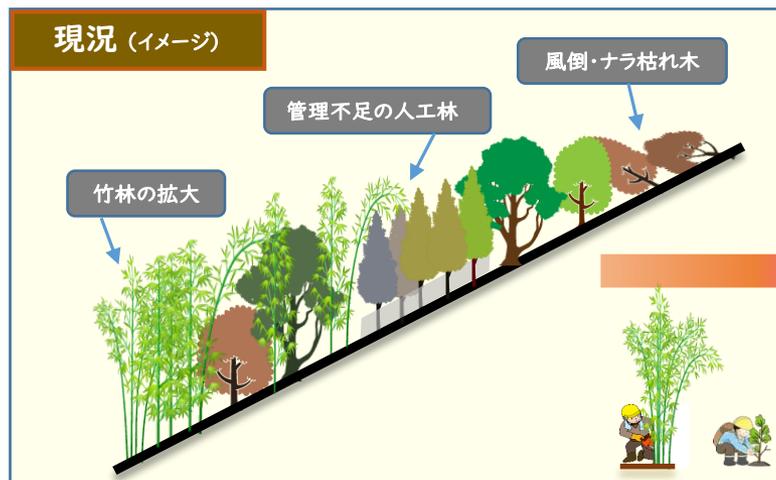
地理院淡色地図 39

# 市域の森林整備方針

## ■ 富田林市森林整備方針

市域の森林は、市民の暮らしに隣接した位置にあることから、「森林の将来像」を目指し、次の3点を重視した森林づくりを進める

- ① 災害の起きにくい『健康な森林』
- ② 景観に彩りを添える『四季を感じる森林』（特に嶽山・金胎寺山の西側斜面）
- ③ 生物多様性豊かな『広葉樹主体の森林』



## 整備内容の検討

抽出された候補地においては、森林所有者との協議に基づき森林整備に取り組む。  
具体的な整備内容については、下記に示す施工例を参考とする。

### ■ 『優先的森林整備候補地』における施工例

#### ◆ スギ・ヒノキ林

《A》 間伐（下床植生の生育促進で、土砂流出を抑制）

《B》 間伐 + 広葉樹苗木の植栽（早期に針広混交林化を目指す場合）

#### ◆ 竹林

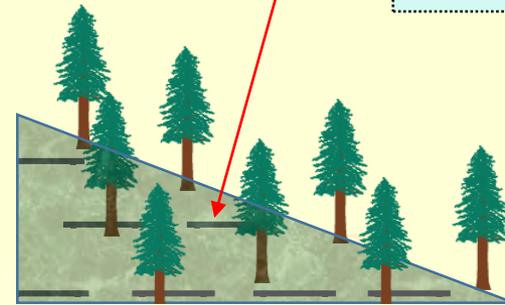
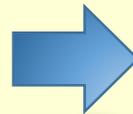
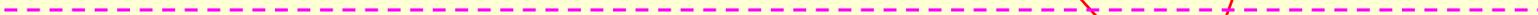
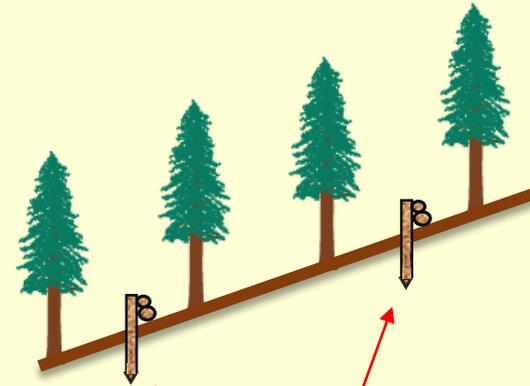
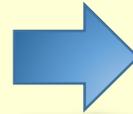
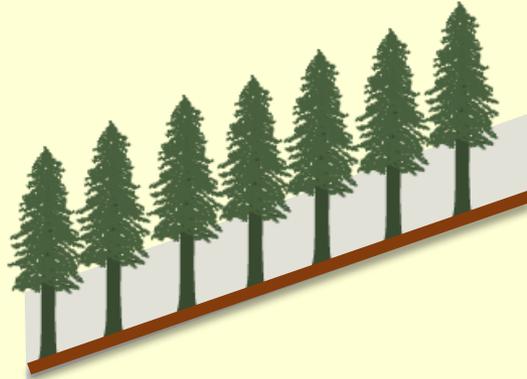
《C》 線的整備（拡大前線部に10m幅の皆伐帯（無立木竹帯）を設定）

《D》 広葉樹林化（竹の選択皆伐。一部に広葉樹苗木植栽）



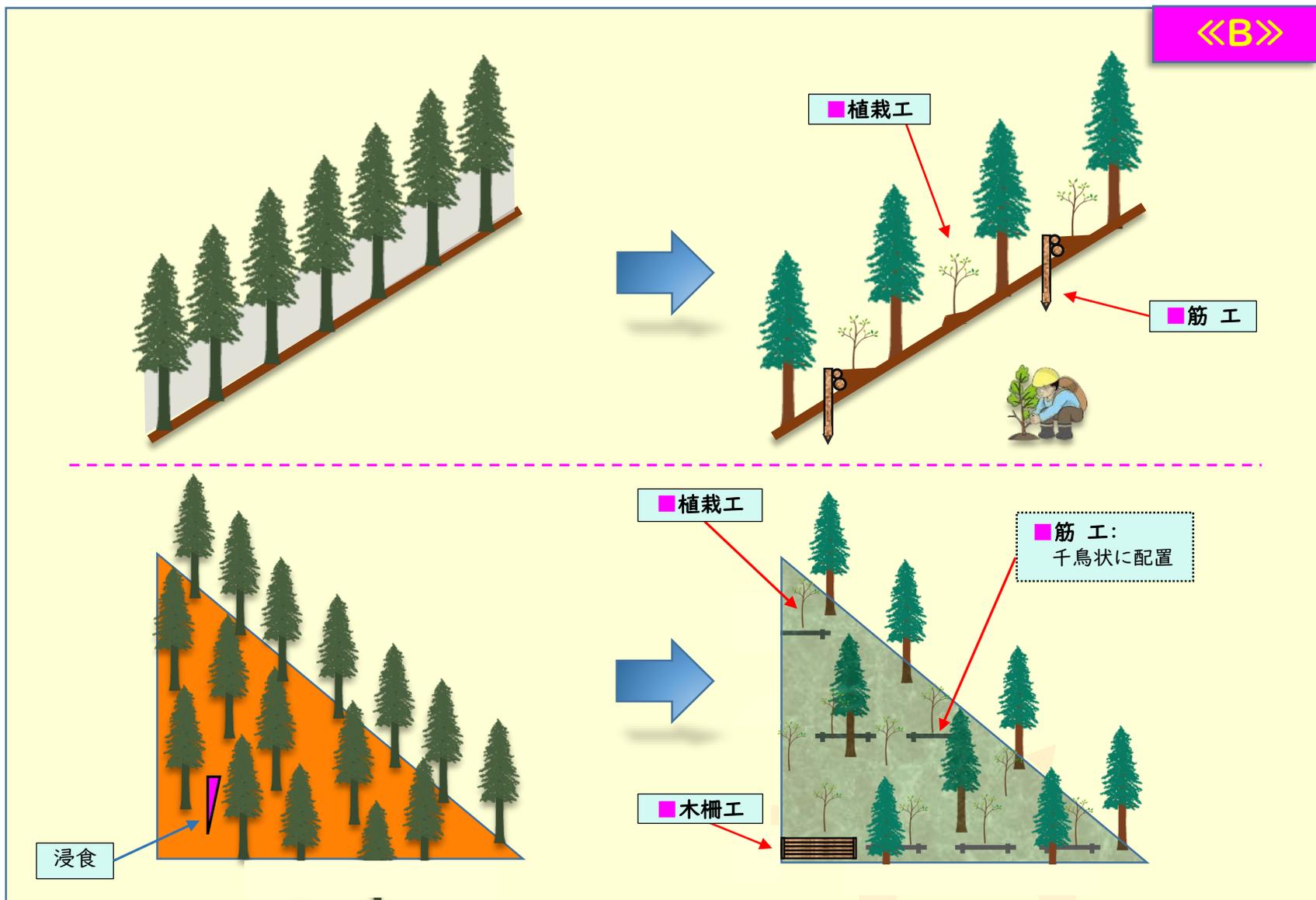
# 《A》 スギ・ヒノキ林の間伐 (災害発生抑制効果向上)

《A》

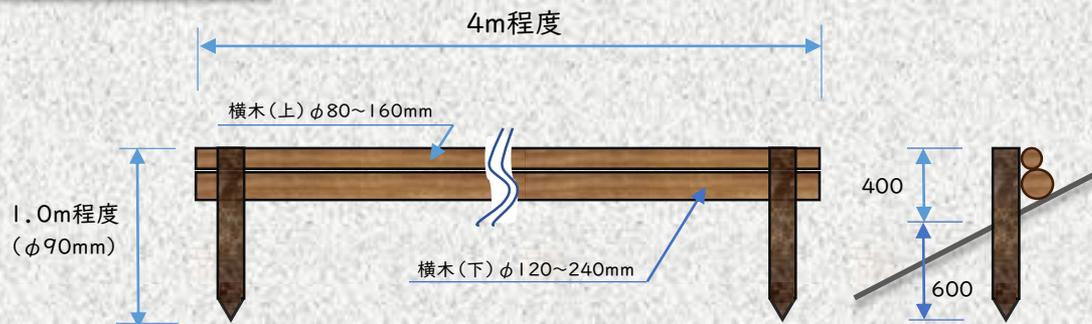


■ 筋工:  
千鳥状に配置

# 《B》 スギ・ヒノキ林の間伐+植栽 (早期に針広混交林化を図り災害発生を抑制)

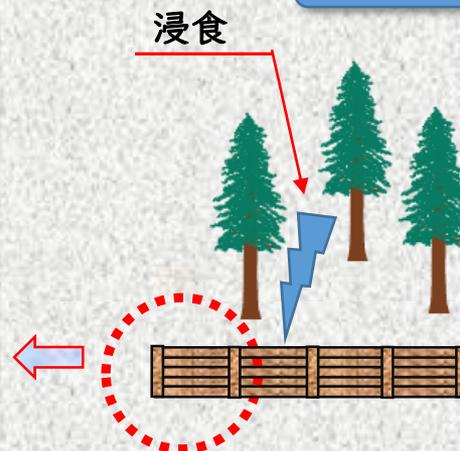
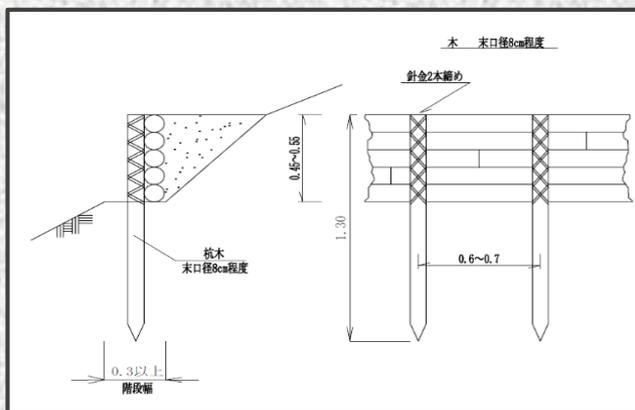


## 筋工



- 横木は、「玉切り」の長さに合わせ、材が細い場合は、数本束ねる
- 縦杭は、「切株」を利用することもできる

## 木柵工



### 植栽工

■ 植栽する苗木は、次の点に配慮しながら、複数種類を選定

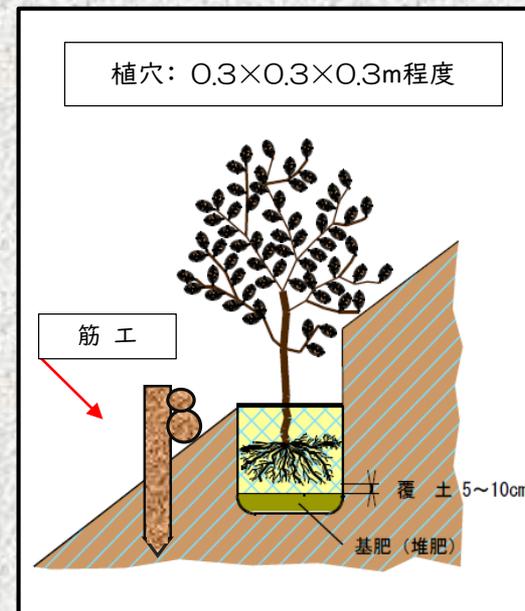
- 1) 高木性の樹種であり、長寿である
- 2) 根系が発達し、土壌の緊縛力が大きい
- 3) 周辺の自然林に分布している樹種である
- 4) 地元或いは近隣府県で入手可能な樹種である

■ 植栽樹種の例

ク リ ・ ケヤキ ・ ホオノキ ・ アカマツ  
クヌギ ・ コナラ ・ アベマキ



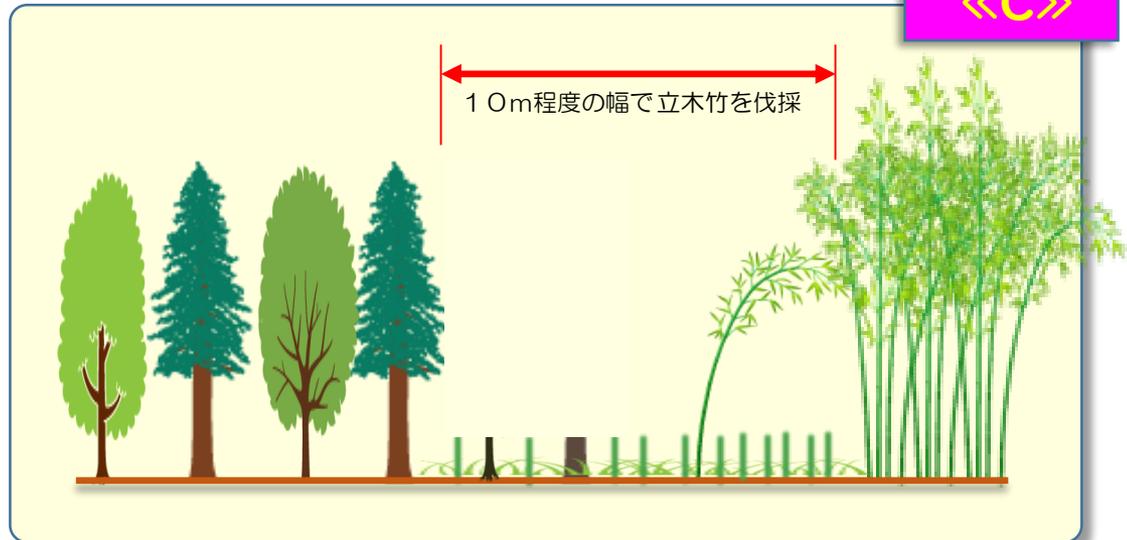
広葉樹苗を植栽する場合の「苗木」は、  
できるだけ、大阪府産や兵庫県南部産、  
京都府南部産を用いるようにしましょう



# 《C》 竹林の 線的整備 (無立木地を造って、竹林拡大を監視、早期対策)

## 線的整備のイメージ

- 地下茎は、年に2~4m程度伸びると言われており、竹林の「拡大最前線」の位置に、10m程度の幅でその中の立木竹をすべて伐採する
- 翌春から、この「伐採帯」に発生したタケノコや竹を除去することで、竹の拡大を抑制する
  - ◆ 侵入タケノコの除去:  
4~5月に見回り、見つけたタケノコを除去 (蹴り倒しなど)

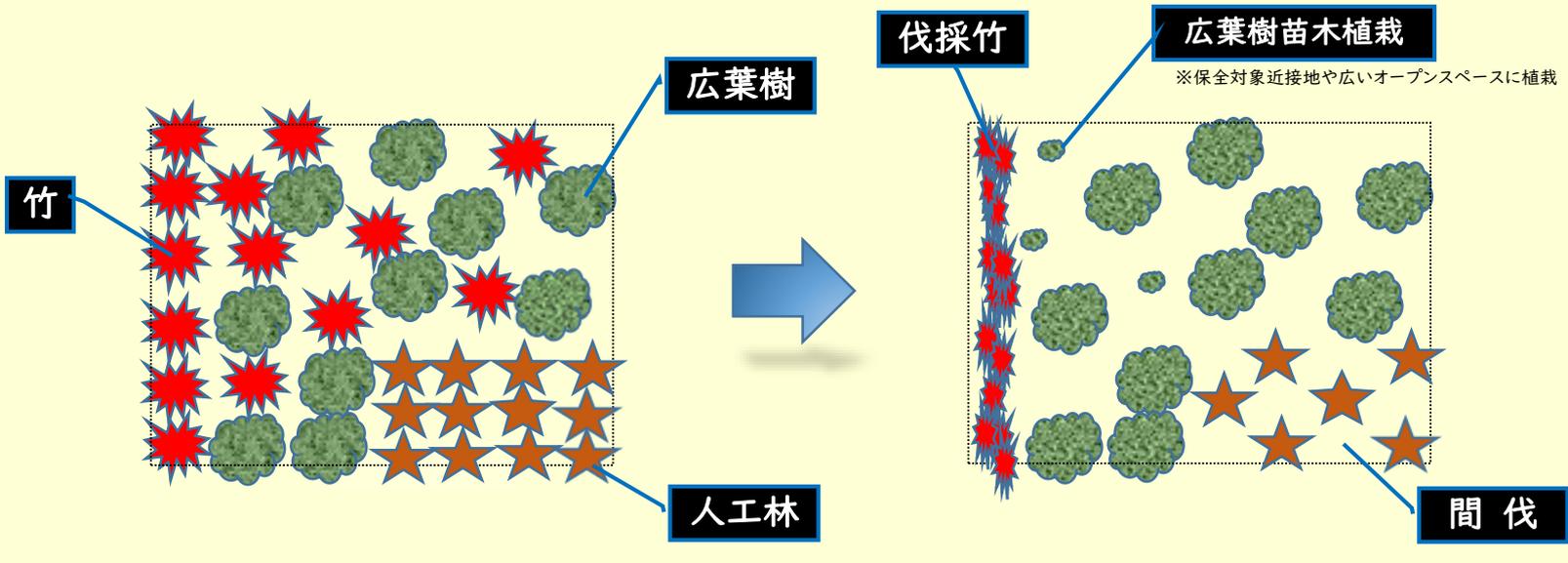
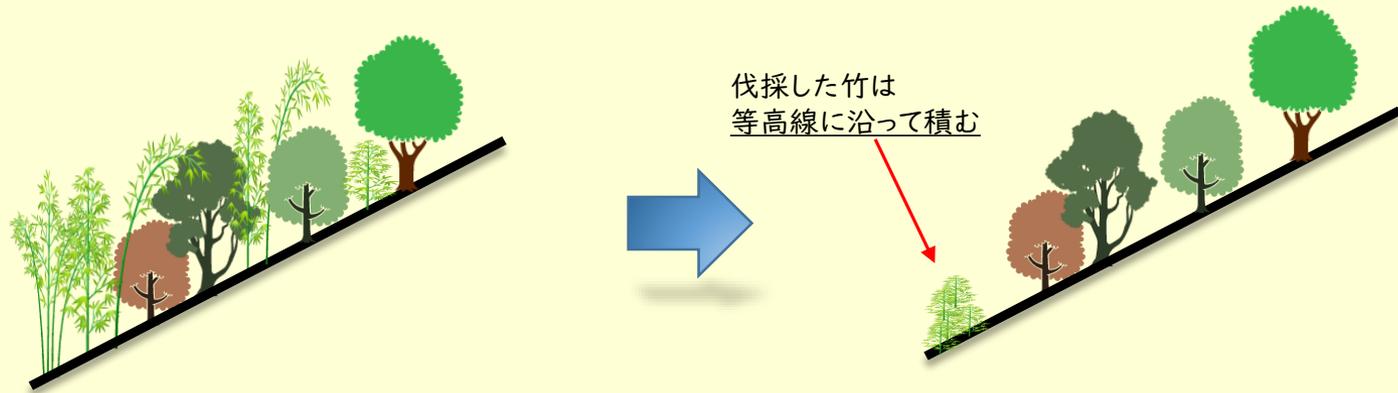


10m幅で 立木竹を伐採

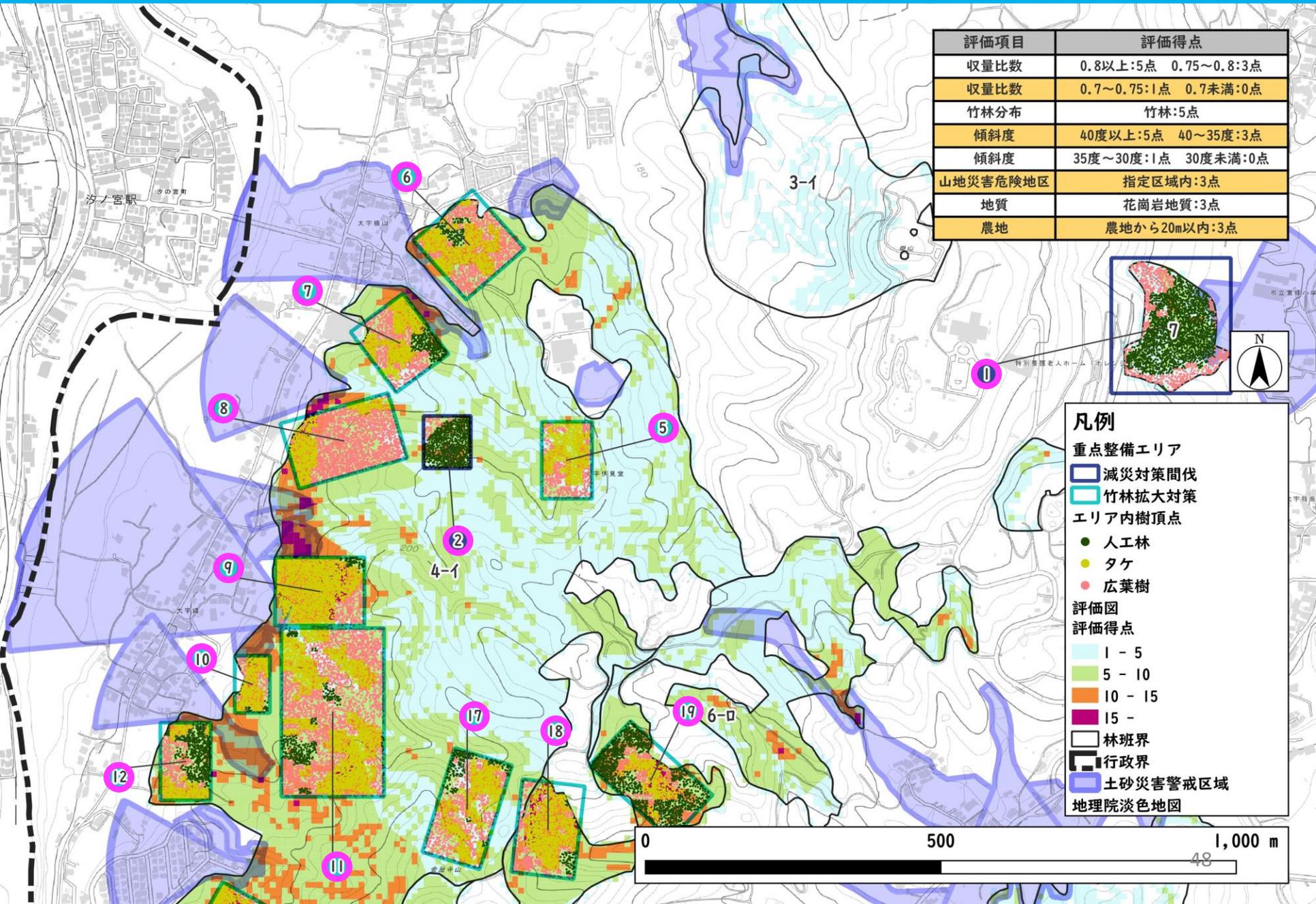


# 《D》 竹林の 広葉樹林化 (侵入した竹の伐採 → 広葉樹林化)

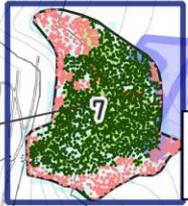
《D》



# 「候補地」の林相 《2/4-2》



評価項目	評価得点
収量比数	0.8以上:5点 0.75~0.8:3点
収量比数	0.7~0.75:1点 0.7未満:0点
竹林分布	竹林:5点
傾斜度	40度以上:5点 40~35度:3点
傾斜度	35度~30度:1点 30度未満:0点
山地災害危険地区	指定区域内:3点
地質	花崗岩地質:3点
農地	農地から20m以内:3点



## 凡例

- 重点整備エリア
- 減災対策間伐 (Blue outline)
- 竹林拡大対策エリア内樹頂点 (Cyan outline)
- 人工林 (Green dot)
- タケ (Yellow dot)
- 広葉樹 (Pink dot)

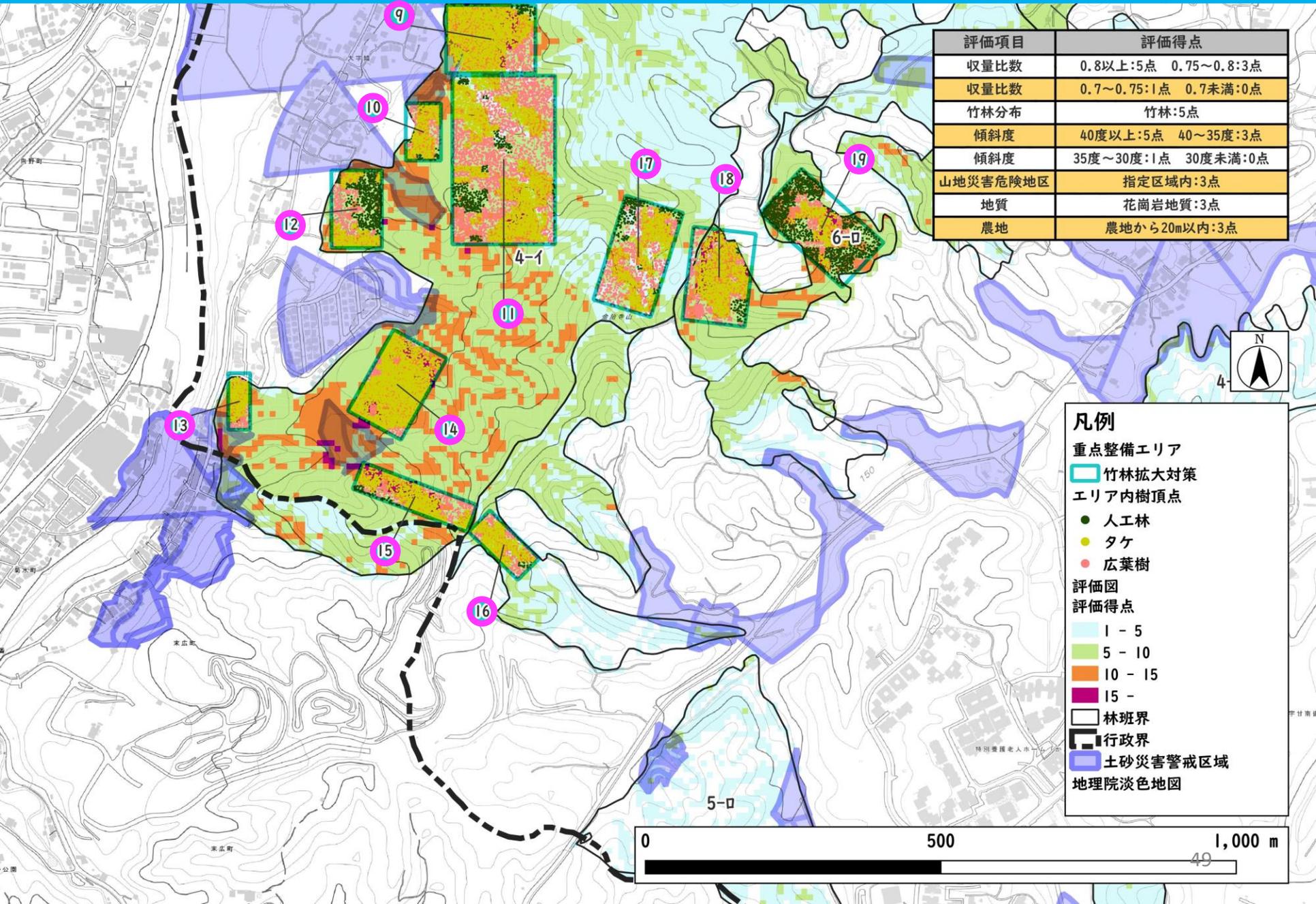
## 評価図

### 評価得点

- 1 - 5 (Light blue)
- 5 - 10 (Light green)
- 10 - 15 (Orange)
- 15 - (Dark purple)
- 林班界 (Black line)
- 行政界 (Black line)
- 土砂災害警戒区域 (Blue shaded area)
- 地理院淡色地図 (Light background)



# 「候補地」内の林相 《3/4-2》



評価項目	評価得点
収量比数	0.8以上:5点 0.75~0.8:3点
収量比数	0.7~0.75:1点 0.7未満:0点
竹林分布	竹林:5点
傾斜度	40度以上:5点 40~35度:3点
傾斜度	35度~30度:1点 30度未満:0点
山地災害危険地区	指定区域内:3点
地質	花崗岩地質:3点
農地	農地から20m以内:3点

**凡例**

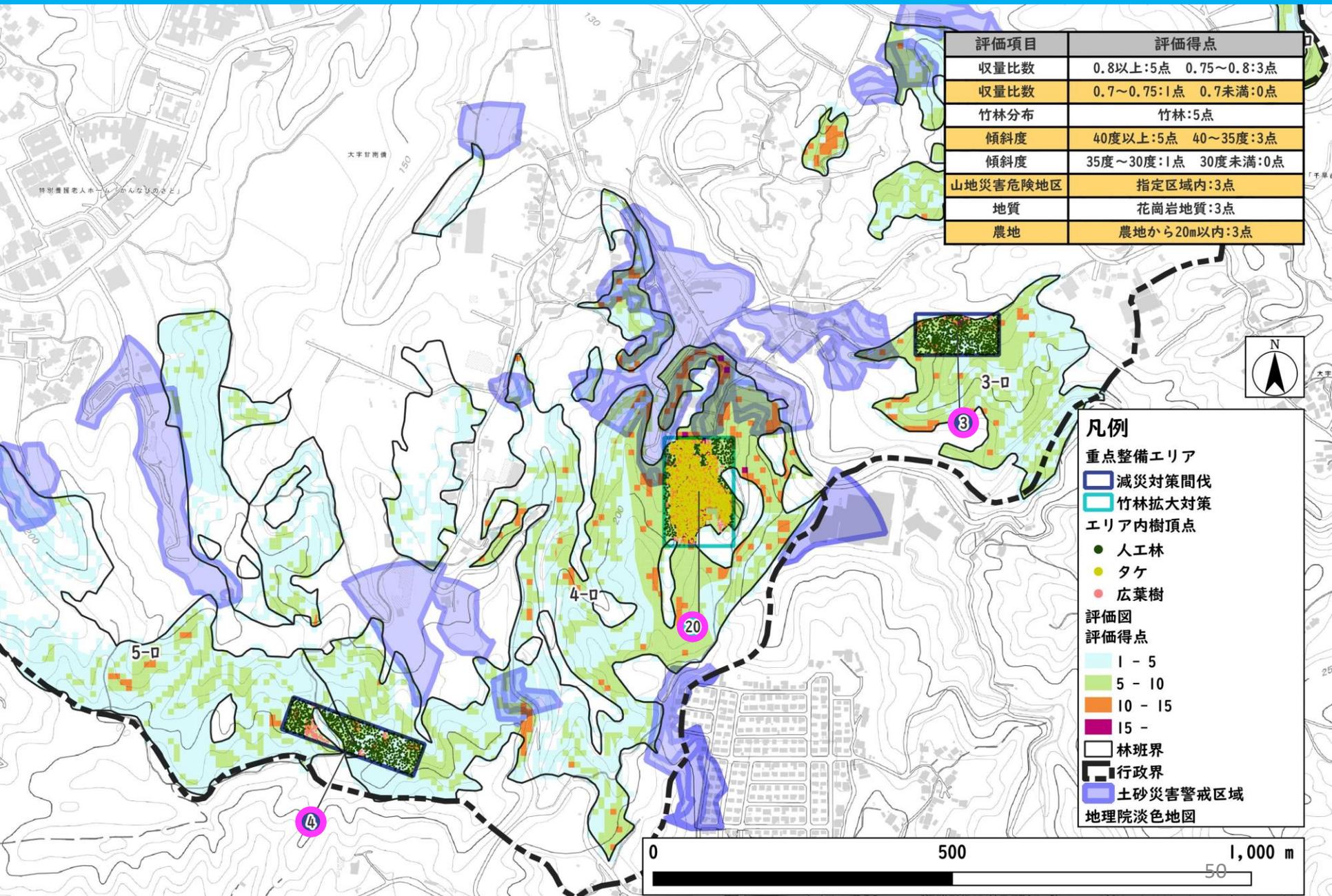
重点整備エリア  
 竹林拡大対策  
 エリア内樹頂点  
 ● 人工林  
 ● タケ  
 ● 広葉樹

評価図  
 評価得点  
 1 - 5  
 5 - 10  
 10 - 15  
 15 -

林班界  
 行政界  
 土砂災害警戒区域  
 地理院淡色地図



# 「候補地」内の林相 《4/4-2》



評価項目	評価得点
収量比数	0.8以上:5点 0.75~0.8:3点
収量比数	0.7~0.75:1点 0.7未満:0点
竹林分布	竹林:5点
傾斜度	40度以上:5点 40~35度:3点
傾斜度	35度~30度:1点 30度未満:0点
山地災害危険地区	指定区域内:3点
地質	花崗岩地質:3点
農地	農地から20m以内:3点

- 凡例**
- 重点整備エリア
  - 減災対策間伐 (Blue outline)
  - 竹林拡大対策エリア内樹頂点 (Cyan outline)
  - 人工林 (Green dot)
  - タケ (Yellow dot)
  - 広葉樹 (Red dot)
  - 評価図
  - 評価得点
    - 1 - 5 (Light blue)
    - 5 - 10 (Light green)
    - 10 - 15 (Orange)
    - 15 - (Purple)
  - 林班界 (Black line)
  - 行政界 (Dashed black line)
  - 土砂災害警戒区域 (Blue shaded area)
- 地理院淡色地図

